



GRANTRUST

一回搗石抜精米機

NXP-33EF

(2.2kwモータ内蔵型)

NXP-55EF

(3.7kwモータ内蔵型)

取扱説明書



このたびは、お買い上げいただき
誠にありがとうございます。



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
この「取扱説明書」をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品の近くに保存して下さい。

もくじ

1. 危険防止のために	1
2. ご使用になるまえに	16
3. 運転方法	28
4. 各部の調整・点検・掃除	35
5. 無洗米造りの精米装置として ..	47
6. 不調な時の原因と対策	48
6. 消耗部品	51

重要なお知らせ



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従って下さい。
- ◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せ下さい。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあつた場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡下さい。






- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従って下さい。
もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せて回答を得るまで作業を進めないで下さい。

1. 危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
この警告ラベルでは危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

警告

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。

このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。







守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。

新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）

1. 危険防止のために

1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 警告	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）
 警告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施してください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 警告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 また、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。
 警告	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。


1. 危険防止のために

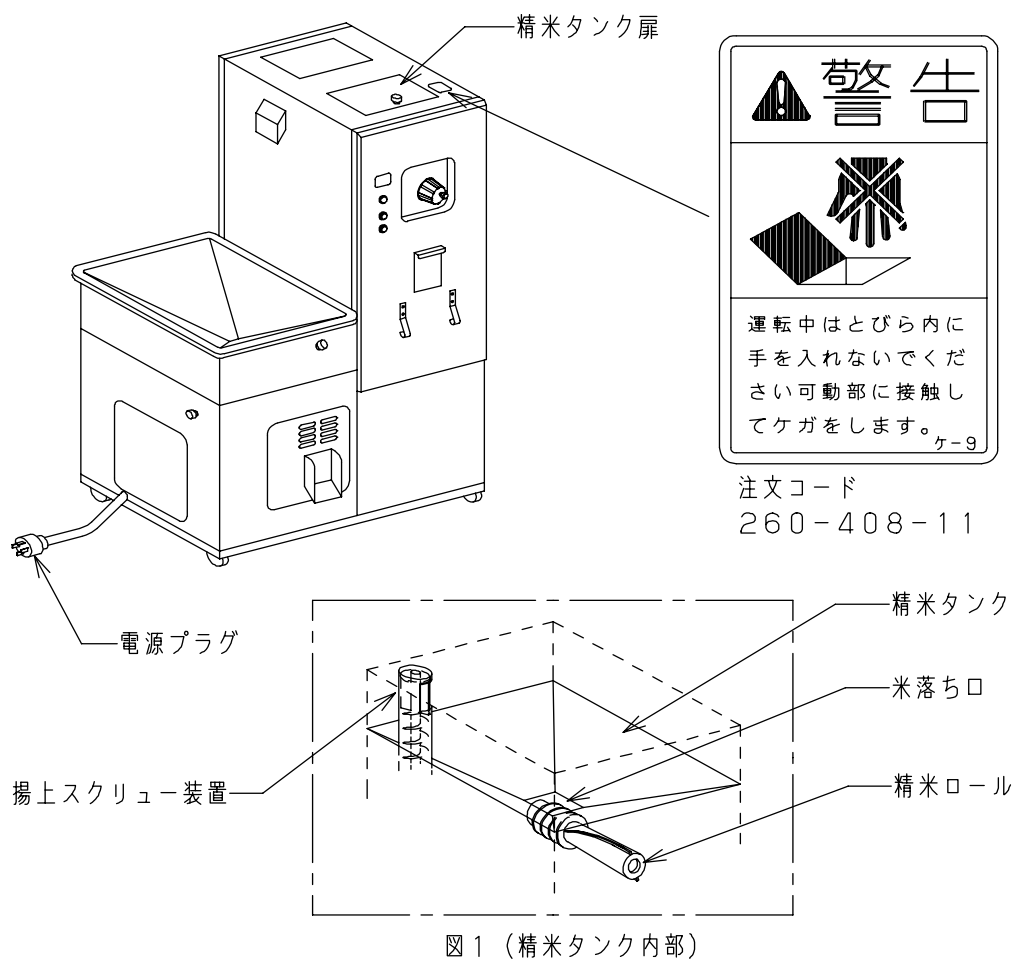
 警告	本機を水につけたり、水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 ショート・感電・漏電・火災の原因となります。
 警告	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
 警告	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
 警告	電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。火災の原因となります。
 警告	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 警告	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 警告	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 警告	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

1. 危険防止のために

1-3 警告ラベル（1）の貼り位置（本機外部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




ラベルの説明

精米機タンク内部は、図1に示すように奥側には揚上装置、精米タンク米落ち口の下方には精米ロールが設置されています。精米タンク扉を開き、中に手を入れると揚上装置のスクリュウや精米ロールの「らせん部」に直接接触することができます。もし運転中にこれらに接触しますと大ケガをしますので、精米タンクの掃除などなんらかの理由で手をいれる場合は、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて行ってください。

1. 危険防止のために

1-4 警告ラベル（2）の貼り位置（本機外部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---

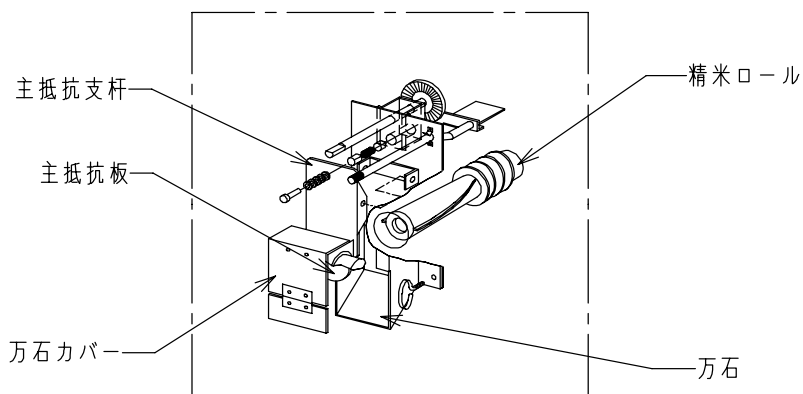
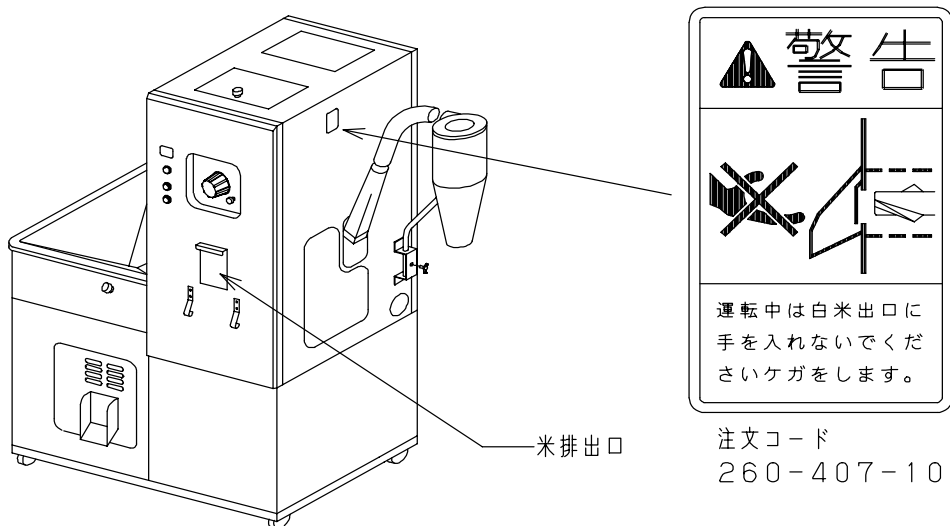


図1（米排出口構成）


ラベルの説明

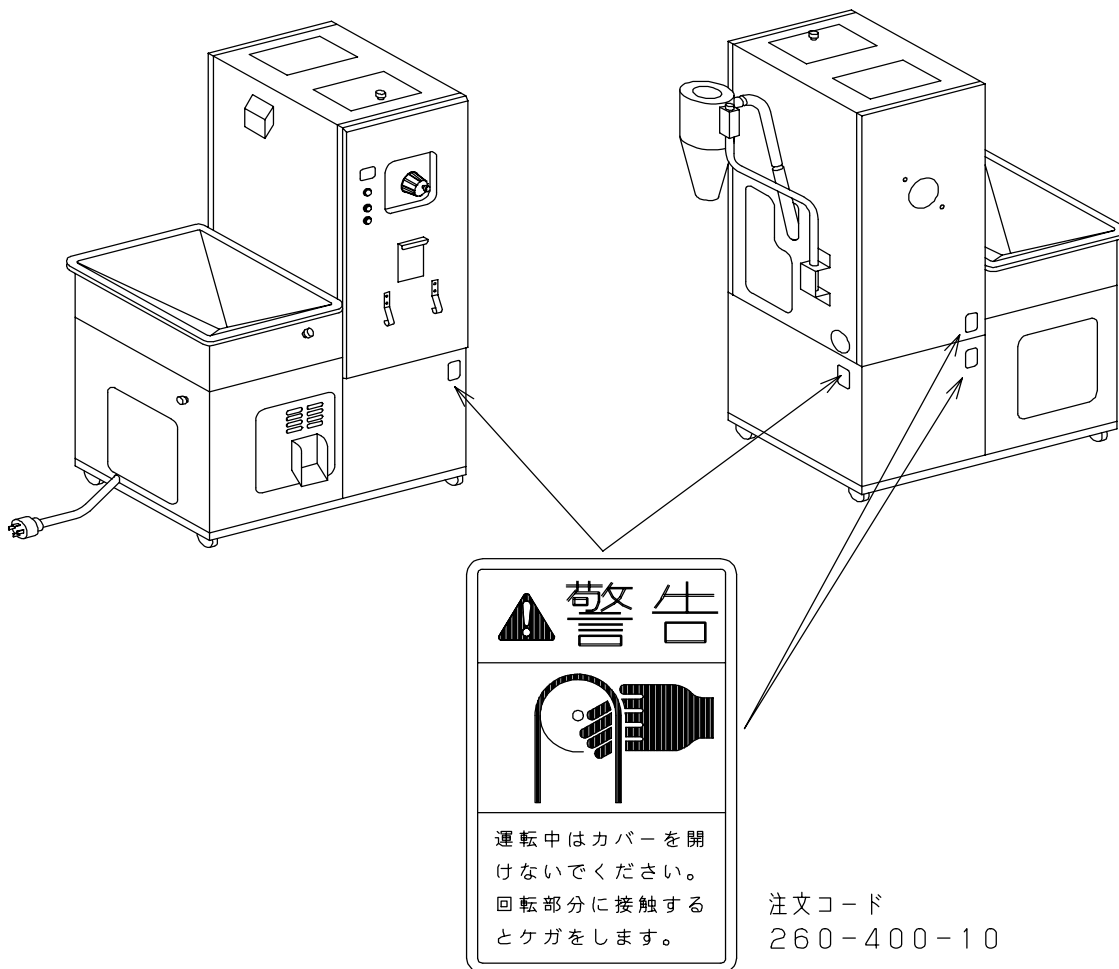
前扉の米排出口を開きますと奥が図1のような構成になっています。運転中は絶対に米排出口の万石カバー下方から手を入れないでください。指に精米ロールの先端が接触しケガをする場合があります。掃除・点検などを行う際は、必ず運転を停止し電源プラグを抜いてください。

（2-2：精米装置の構成を参照）

1. 危険防止のために

1-5 警告ラベル (3) の貼り位置 (本機外部) と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




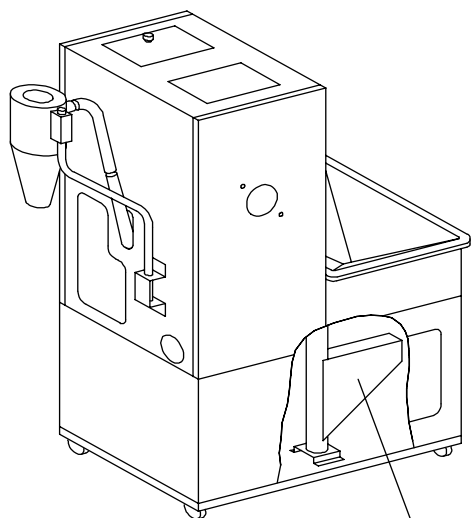
ラベルの説明

ラベルが貼ってある扉を開けると内に伝動部があります。これらを手で直接触れることができます。運転中にこれらに接触しますとケガをしますので、扉を開く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。

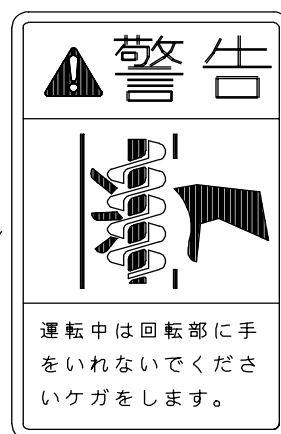
1. 危険防止のために

1-6 警告ラベル（4）の貼り位置（本機内部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



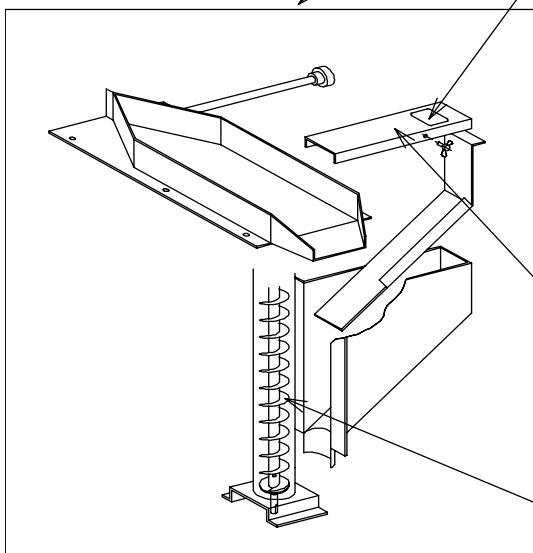
機械内部



注文コード
260-403-11

ラベルの説明

図示の揚上スクリーシュートフタを開けると、内にある揚上スクリーに直接接触することができます。運転中にこれらに接触しますと大ケガをしますのでフタを開く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。




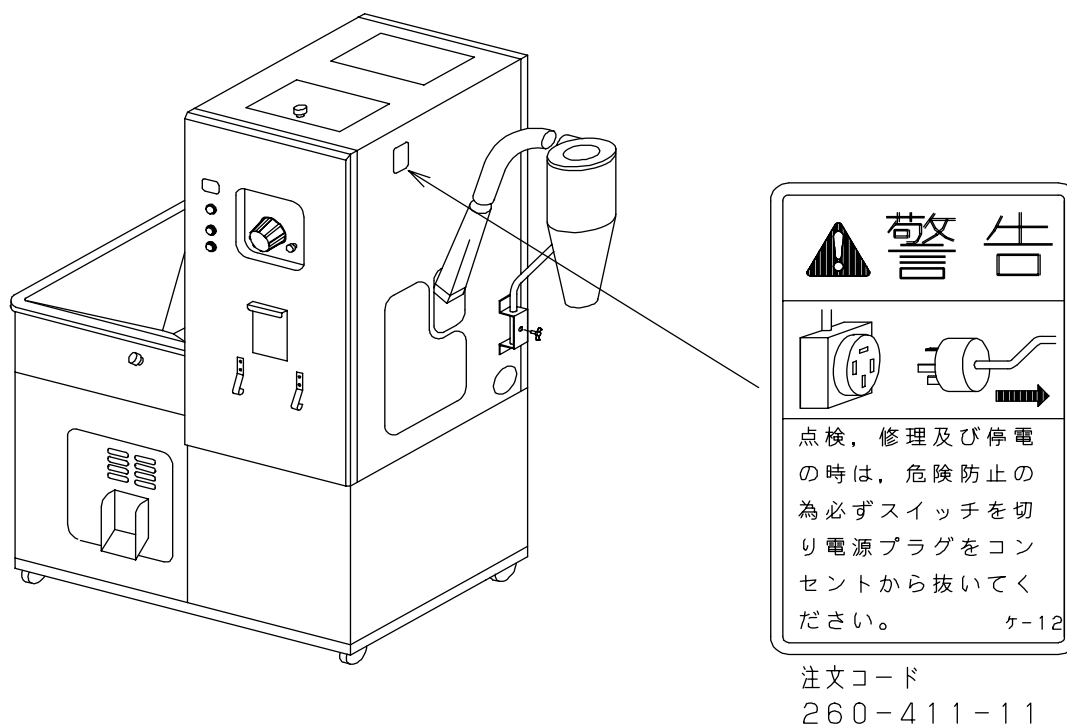
揚上スクリーシュートフタ

揚上スクリー

1. 危険防止のために

1-7 警告ラベル（5）の貼り位置（本機外部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




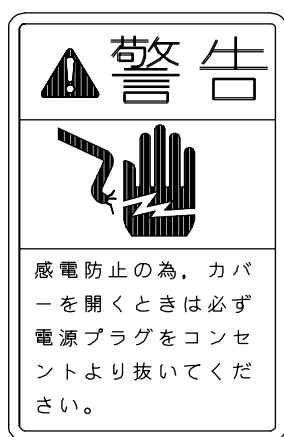
ラベルの説明

前後扉を開けると内側に本機動作部・伝動部があり、これらを手で直接触れることができます。
運転中にこれらに接触しますと大ケガをしますので扉を開く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。

1. 危険防止のために

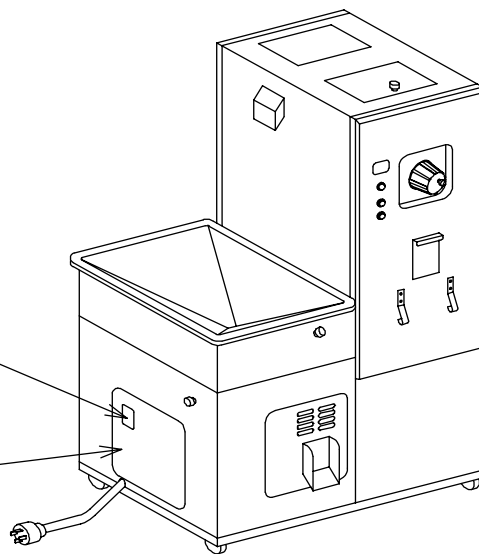
1-8 警告ラベル（6）の貼り位置（本機外部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



注文コード
260-412-10

電装ボックスフタ




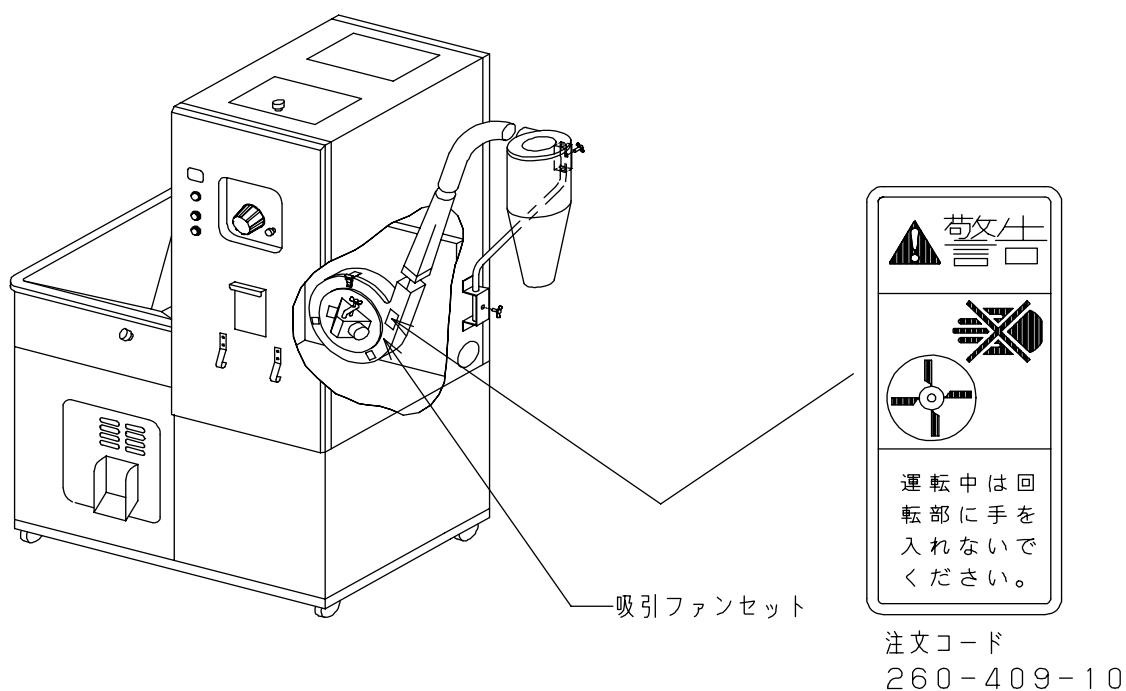
ラベルの説明

図示の電装ボックス内には電装品が収納されております。通電中に接触しますと感電します。運転する場合は、必ず電装ボックスフタを閉めてください。また、点検・修理などで電装ボックスを開ける場合は、必ず電源プラグを抜いてください。

1. 危険防止のために

1-9 警告ラベル（7）の貼り位置（本機内部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



ラベルの説明

図示の吸引ファンセット内にはファンが収納されております。
運転中これに接触しますと大ケガをします。
運転する場合は、必ず吸引ファンフタを閉めてください。
また、点検・修理などで扉を開ける場合は、必ず電源プラグを抜いてください。

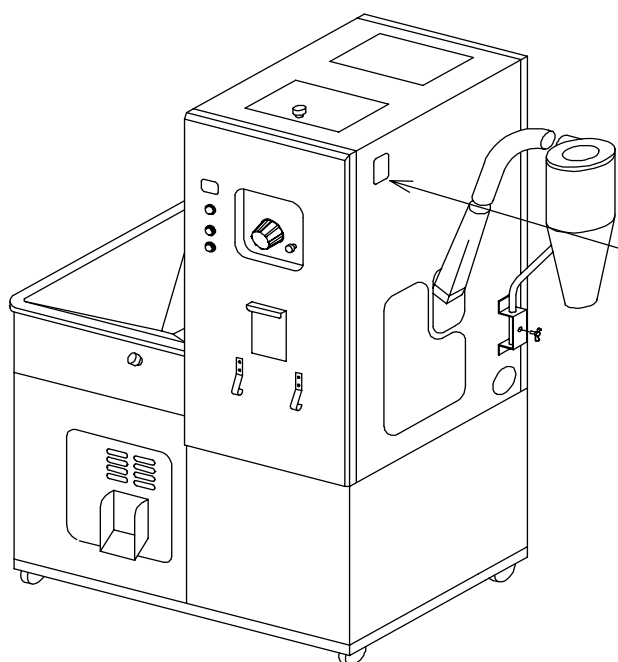
1. 危険防止のために

1-10 注意ラベル（1）の貼り位置（本機外部）と説明



警告

危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。



注意

運転前に、必ず取扱説明書をよく読んで本機の性能及び機能をよく理解してから運転してください。


注文コード
260-433-10

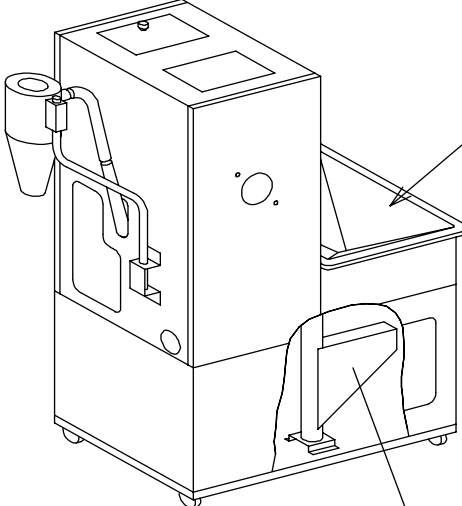
ラベルの説明

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。
本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。

1. 危険防止のために


1-11 注意ラベル（2）の貼り位置（本機内部）と説明



 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



張込タンク

機械内部

 **注意**

運転中は可動部に接触をしないでください。ケガをします。

注文コード
260-432-11

—ラベルの説明—

図示の揚上スクリーシュートフタを開けると、内にある石抜機金網の先端に直接接触することができます。運転中にこれらに接触しますと大ケガをしますので、フタを開く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。


(2-3：揚上スクリー装置の構成を参照)

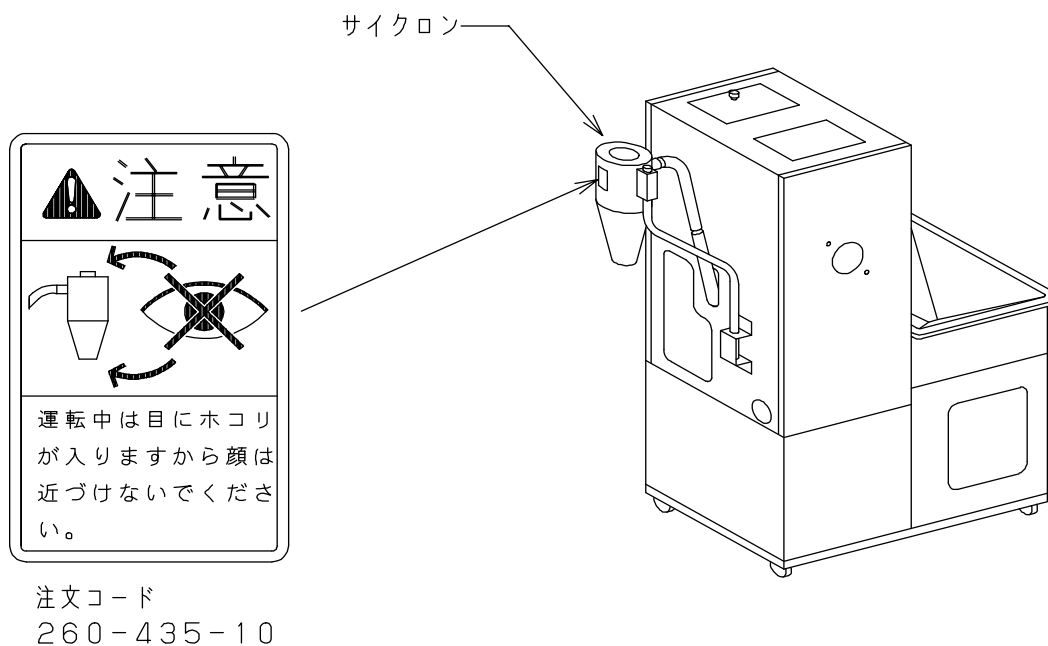
揚上スクリーシュートフタ

石抜機金網

1. 危険防止のために

1-12 注意ラベル (3) の貼り位置 (本機外部) と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




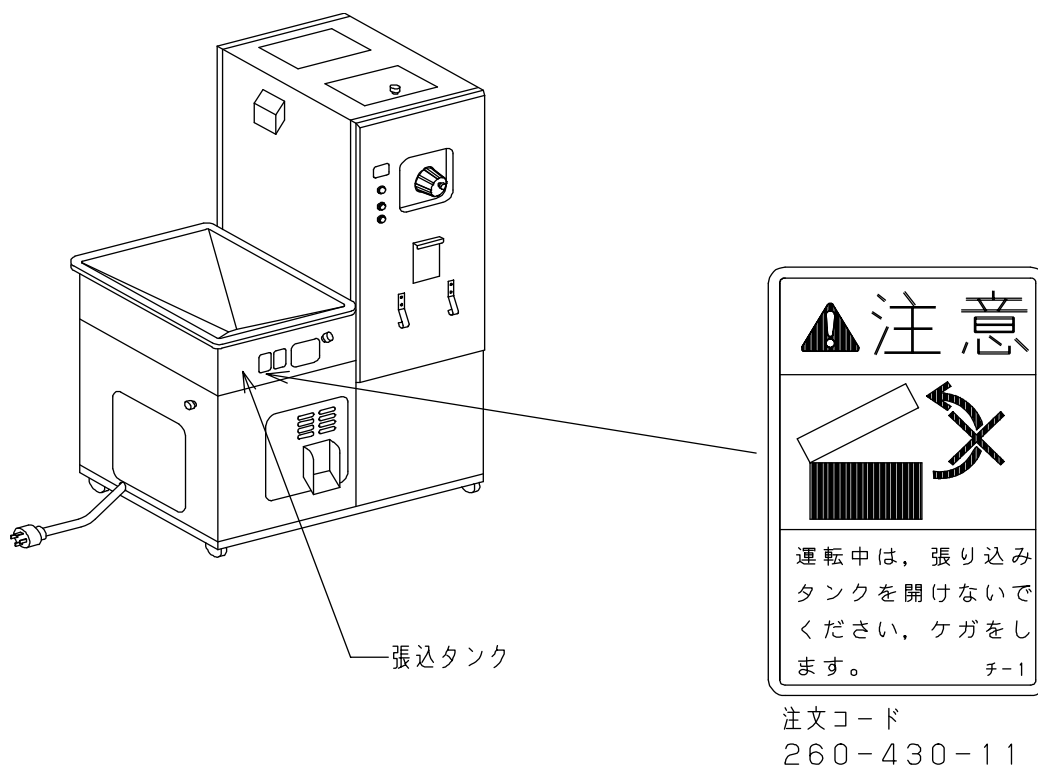
ラベルの説明

運転中にサイクロンを上から覗きますと目にゴミなどが入り、目を傷めますので運転中には絶対に覗かないでください。

1. 危険防止のために

1-13 注意ラベル（４）の貼り位置（本機外部）と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




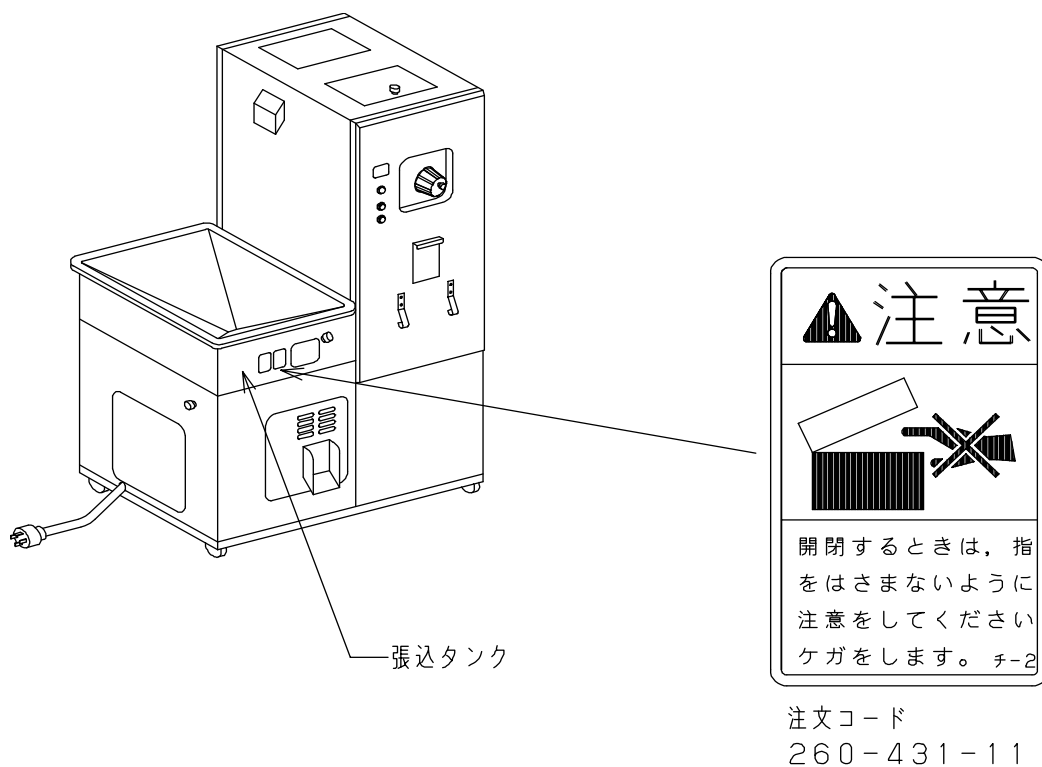
ラベルの説明

張込タンクを開けると内部に石抜装置があります。
運転中にこの装置に接触するとケガをします。
運転中に張込タンクは絶対に開けないでください。

1. 危険防止のために

1-14 注意ラベル (5) の貼り位置 (本機外部) と説明

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



ラベルの説明

張込タンクを開けた時、手をタンクの下に絶対置かないでください。
なんらかの原因でタンクが閉まった場合、手をつぶす危険性があります。

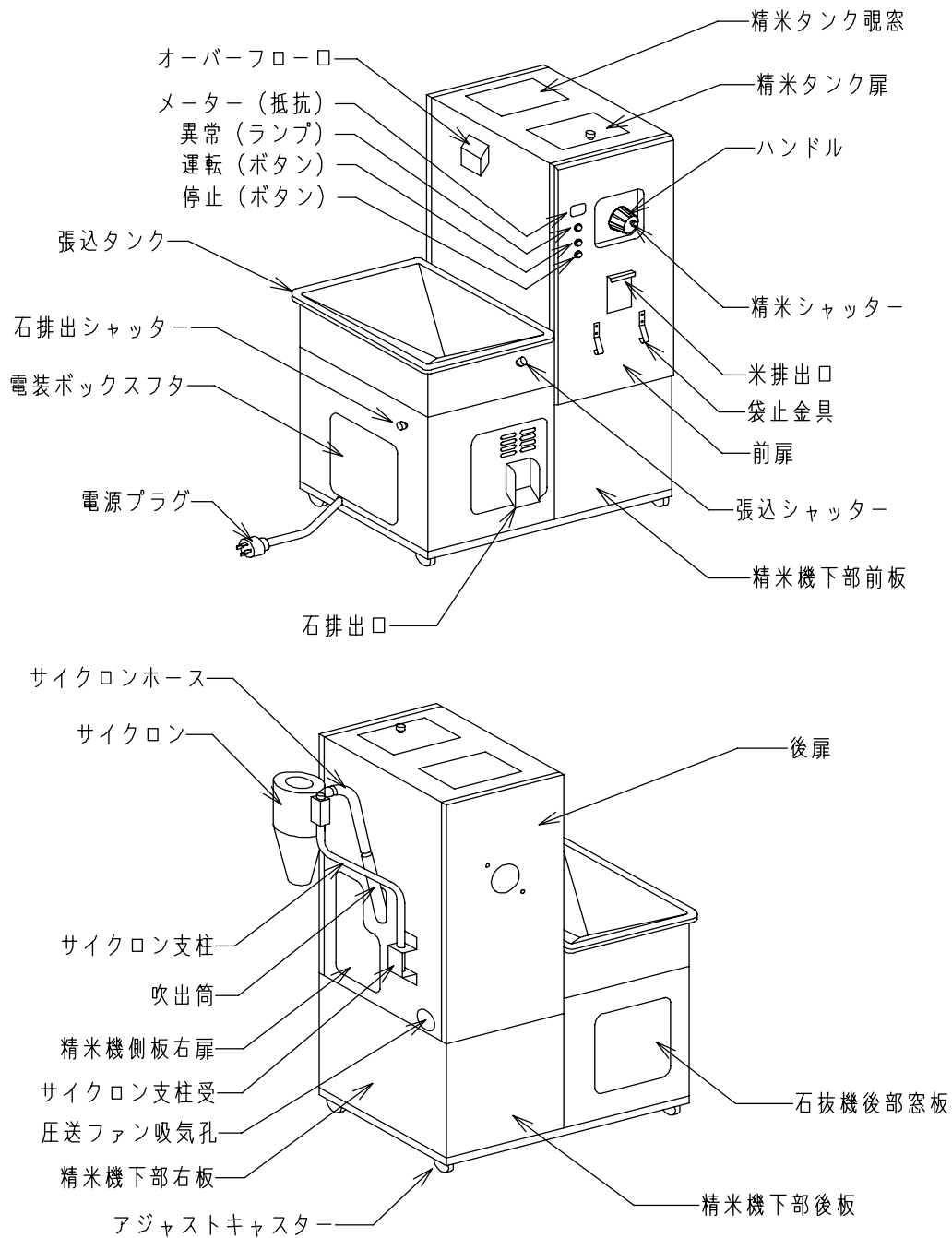
2. ご使用になるまえに

2-1 本機の構成名称



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



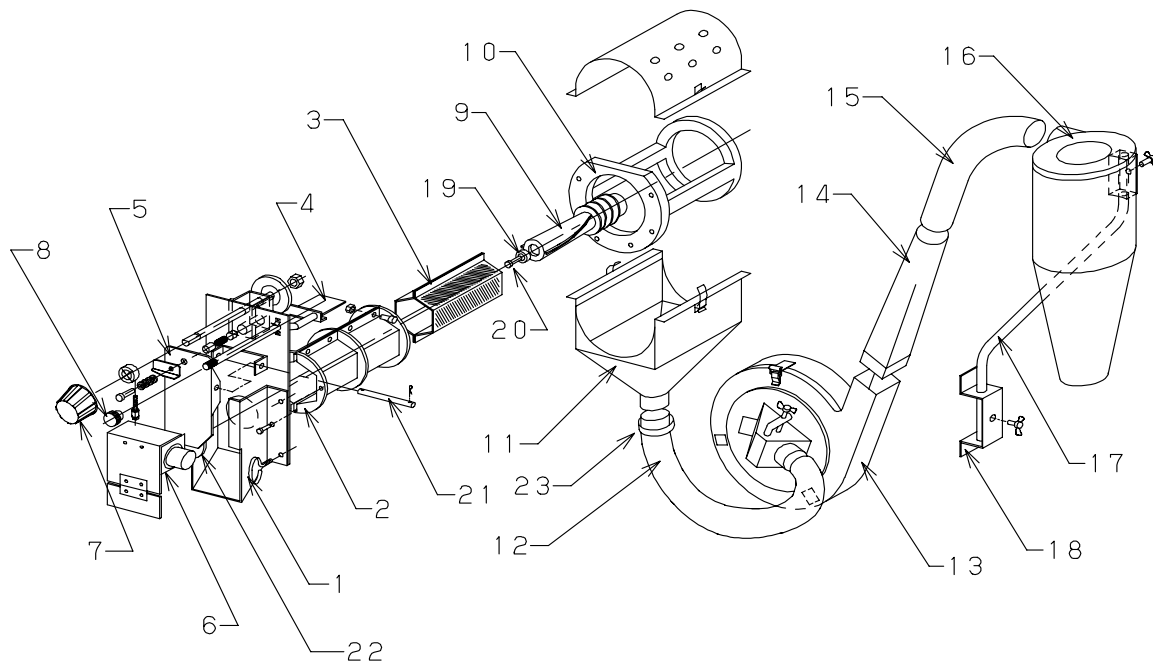
2. ご使用になるまえに

2-2 精米装置の構成



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



1	万石セット	13	吸引ファンセット
2	金網枠 (2枚セット)	14	吹出筒
3	金網 (2枚セット)	15	サイクロンホース (Φ63)
4	精米シャッター板	16	サイクロン
5	主抵抗支杆	17	サイクロン支柱
6	万石カバー	18	サイクロン支柱受
7	ハンドル	19	ロール押え
8	精米シャッターツマミ	20	ロール止めネジ (六角穴付M8×25)
9	精米ロール	21	主抵抗支杆軸
10	本体前部	22	主抵抗板
11	吸引シュート	23	ホースバンド (Φ65)
12	吸引ホース (Φ63)		

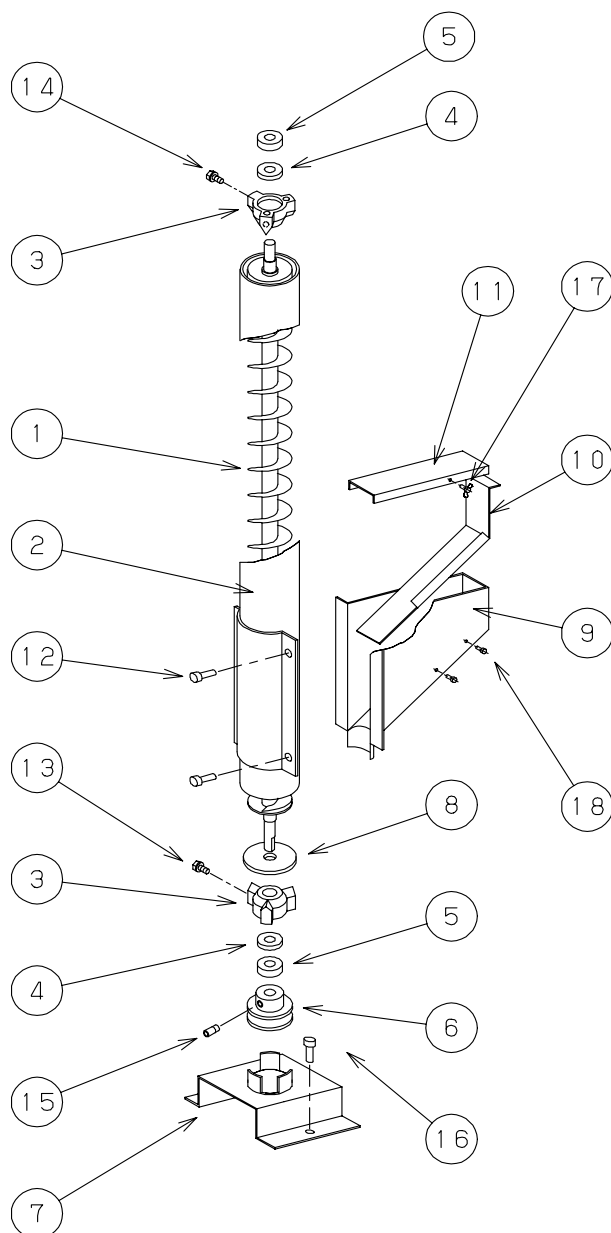
2. ご使用になるまえに

2-3 揚上スクリュウ装置の構成



注意


ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。




1	揚上スクリュウ
2	スクリュウパイプ
3	スクリュウ軸受
4	オイルシール
5	ベアリング (6201 2NS)
6	プーリー (Φ49)
7	スクリュウベース
8	フェルトリング
9	スクリュウシュート
10	シュート下板
11	シュートフタ
12	シュート止めネジ
13	軸受下止めネジ (3ヶ所)
14	軸受上止めネジ (1ヶ所)
15	プーリー止めネジ
16	ベース止めネジ (2ヶ所)
17	シュートフタ止めネジ
18	シュート下板止めネジ

2. ご使用になるまえに

2-4 電氣的仕様の確認

 警告	<p>本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者または、電気工事資格店にて本機取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。自分で勝手に工事はなさないでください。本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。</p> <p>また、既存の動力配線をお使いになる場合は、本機の基準に相反していないか確認後本機を使用してください。</p>
---	---

仕 様			
項目	機種	NXP-33EF型	NXP-55EF型
毎時能力 (kg/h)		(玄米) 160 ~ 180	(玄米) 240 ~ 270
外形寸法 (mm)		幅 840 × 奥行 640 × 高さ 1380	
タンク容量 (kg)		張込タンク : (玄米) 30 / (粳) 20 精米タンク : (玄米) 30 / (粳) 20	
白米排出高さ (mm)		800	
張込タンク高さ (mm)		790	
本機重量 (kg)		180	190
除糠装置		圧送ターボファン 吸引ターボファン FF装置付	
精米モーター (kw)		2.2	3.7
揚上装置モーター (kw)		0.1	0.1
石抜モーター (kw)		0.1	0.1
電源 (V)		三相 200	
ブレーカー容量 (A)		20以上	30以上
安全装置		過負荷保護ブレーカー (手動復帰型)	

 注意	<p>本機が使用する電源が上記に示す電氣的仕様を充分満足しているか確かめてください。</p>
---	--

2. ご使用になるまえに

2-5 電気工事に関する注意事項



警告

修理及び点検作業を行う場合は、必ず元電源を切ってから実施してください。
感電等などの安全上支障をきたすことがあります。

※ NXP-33EF型・NXP-55EF型に関する電源仕様及び電源に関する注意事項を下記に示します。

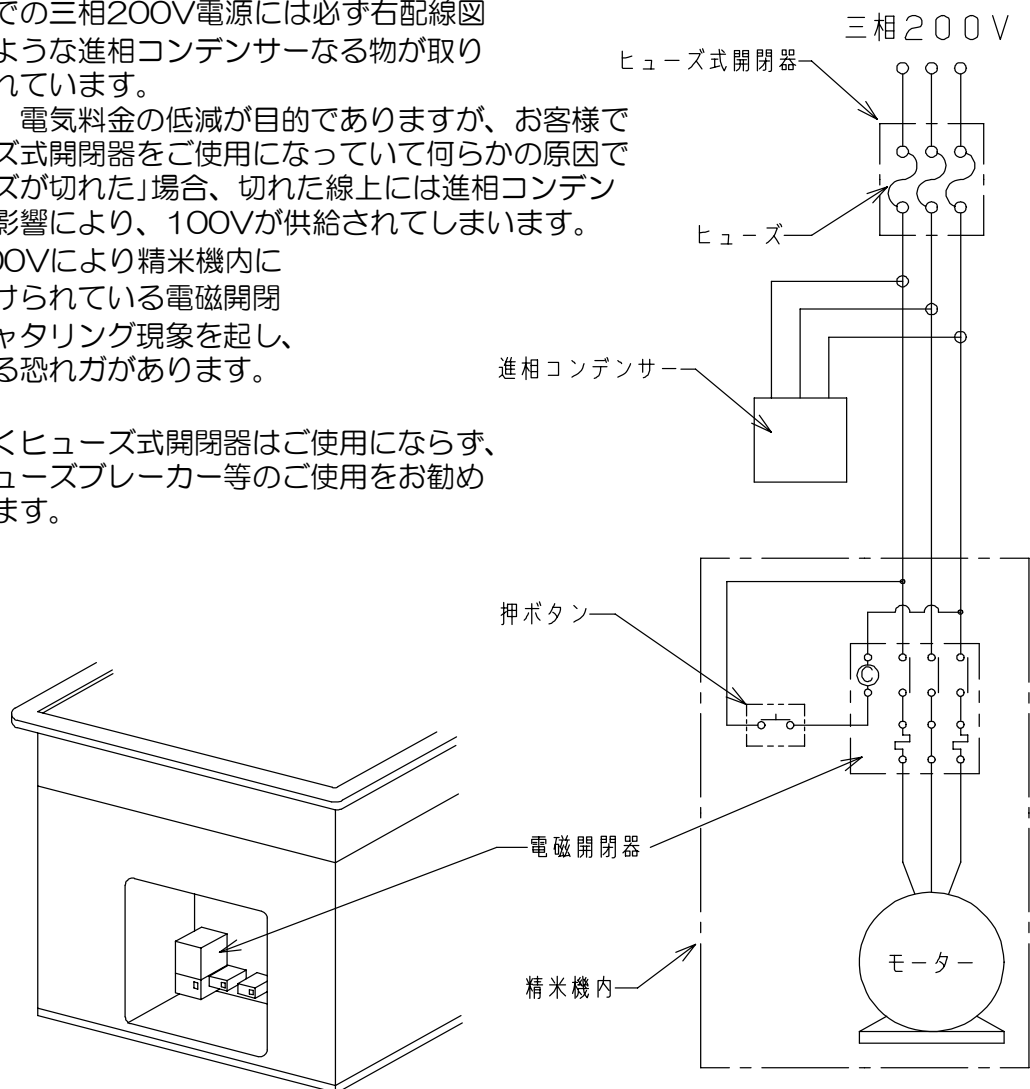
機種	電源	モーター全容量	ブレーカー容量
NXP-33EF型	三相 200V	2.4kw	20A以上
NXP-55EF型	三相 200V	3.9kw	30A以上

お客様での三相200V電源には必ず右配線図に示すような進相コンデンサーなる物が取り付けられています。

これは、電気料金の低減が目的であります。お客様でヒューズ式開閉器をご使用になっていて何らかの原因でヒューズが切れた場合、切れた線上には進相コンデンサーの影響により、100Vが供給されてしまいます。

この100Vにより精米機内に取り付けられている電磁開閉器がチャタリング現象を起し、損傷する恐れがあります。

なるべくヒューズ式開閉器はご使用にならず、ノーヒューズブレーカー等のご使用をお勧めいたします。



2. ご使用になるまえに

2-6 本機の設置に関して



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。本機の性能を充分発揮できず安全上支障をきたすことがあります。作業する際には身の回りには充分気を配り、手を潰したりしないように注意してください。



警告

本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の回りには決して過熱性のもの・電気的な高容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険なものは置かないようにしてください。また、設置する場所は板の間などの地盤が弱い所は絶対に避けてください。本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。

※ 下記の手順にて調整してください。
調整が終わりましたら本機を揺さぶりガタがないことを確認してください。

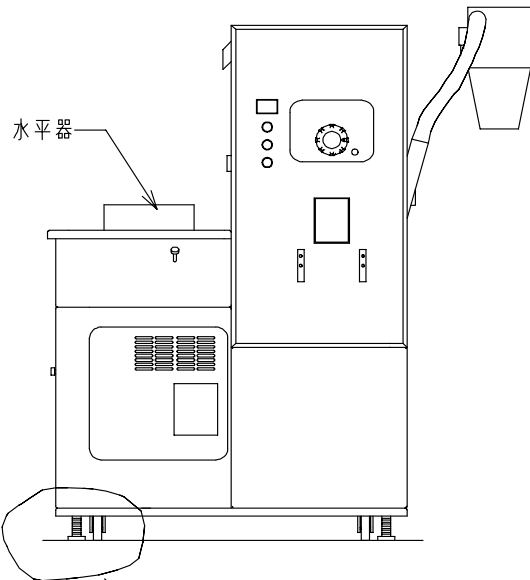
- ① 本機を所定の位置まで移動します。
- ② 右下図に示すように、キャスターのアジャストボルトをスパナで時計方向へ回してください。

注意①

アジャストボルトで本機を固定する時は、キャスターを地面より浮かさないようにしてください。本機が振動する場合があります。

注意②

設置が完了しましたら水平器を張込タンクの上に置き、水平であることを確認してください。水平が出ていないと石抜精度が低下します。



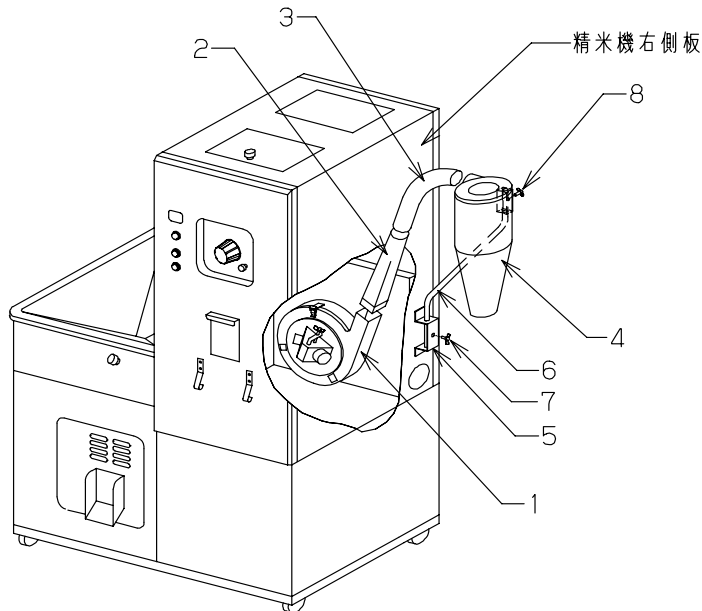
2. ご使用になるまえに

2-7 サイクロンの取り付け方



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、手を潰したりしないように注意してください。



1	吸引ファンセット
2	吹出筒
3	サイクロンホース
4	サイクロン
5	サイクロン支柱受
6	サイクロン支柱
7	支柱止ボルト（下）
8	支柱止ボルト（上）

- ① 精米機右側板に長穴があります。
この長穴に吹出筒を入れ、精米機内の吸引ファンセットの吹出口にはめ込みます。
- ② 吹出筒の上部にサイクロンホースをはめ込みます。
- ③ 精米機右側板に取り付けられているサイクロン支柱受の支柱止ボルト（下）を緩め、サイクロン支柱受の穴にサイクロン支柱を差し込みます。
- ④ サイクロンの支柱止ボルト（上）を緩め、サイクロンをサイクロン支柱に差し込みます。
- ⑤ サイクロンにサイクロンホースをはめ込みます。
（サイクロンと吹出筒がつながります）
- ⑥ サイクロンの位置が決まりましたら、サイクロン・サイクロン支柱受の支柱止ボルト（上）・（下）を締めます。
- ⑦ サイクロンの取り付けが終了しましたら、付属の糠袋をサイクロンの下に取り付けてください。



注意

糠袋は約3俵程度精米した分の糠を収納することができます。それ以上になりますとサイクロン上部より糠が吹き上げ、サイクロン・吸引ファン等の糠詰まりの原因になりますので、3俵程度精米されましたら必ず糠の処理をおこなってください。

2. ご使用になるまえに

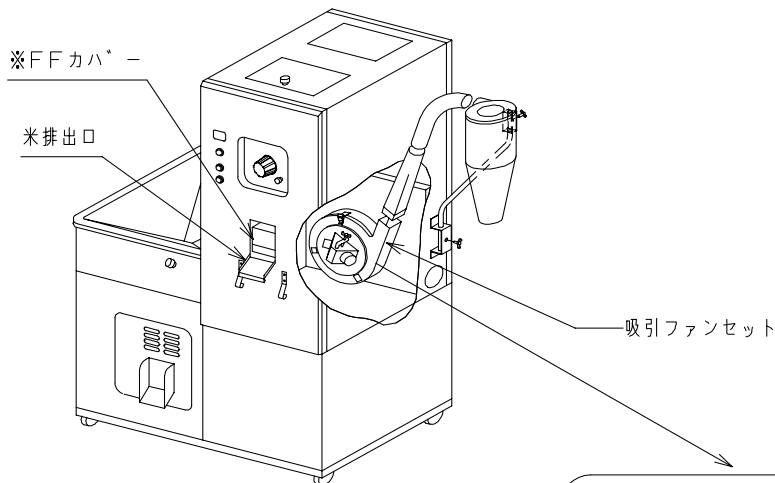
2-8 粳・玄米時の切り換え（1）



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、手を潰したりしないように注意してください。

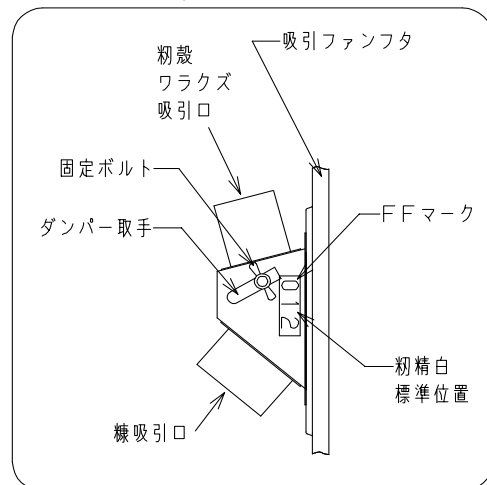
◎ フロートフィルター（粳殻・ワラズ吸引装置）の取扱いについて



本機には粳精白時に粳殻・ワラズ等をきれいに除去するため、フロートフィルター（粳殻・ワラズ吸引）装置が設けられています。

玄米精白の場合：ダンパー取手を「0」の位置に合わせてください。
（固定ボルトでしっかり固定）

粳精白の場合：ダンパー取手を「0～2」の間に合わせ、お米が吸われないように調節してください。
（固定ボルトでしっかり固定）



注意

粳精白の場合、標準位置で粳殻・ワラズ等の取れが悪い場合は、ダンパー取手を標準位置より少し強方向に合わせてください。
サイクロンにお米が飛ばないように注意のこと。

米排出口が開いた状態で前扉を閉めると、FFカバーが破損する場合があります。
必ず米排出口がしっかり閉まっていることを確認してから前扉をゆっくりと閉めてください。

2. ご使用になるまえに

2-9 粳・玄米時の切り換え（2）

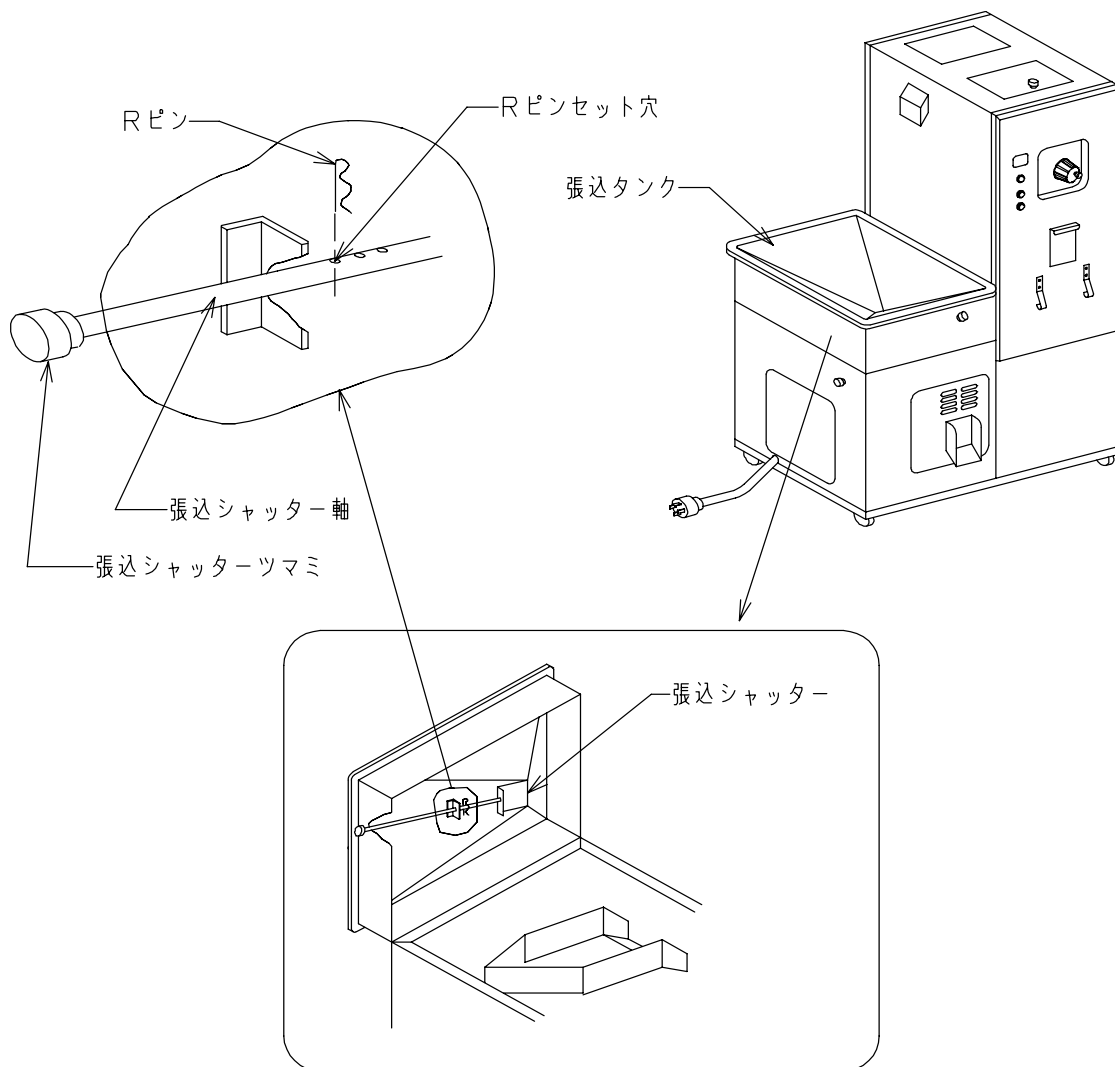


注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、手を潰したりしないように注意してください。

◎ 石抜機張込シャッターの調整に関して

石抜機張込シャッターの開度は、玄米と粳では異なります。開度を制限しているのは、シャッター軸にセットされている「Rピン」です。工場出荷時が玄米に調節されており、Rピンはシャッター軸の3個の穴の一番前側の穴にセットされています。粳で精米される場合は、Rピンを一番奥（3個目）の穴にセットしなおしてください。



2. ご使用になるまえに

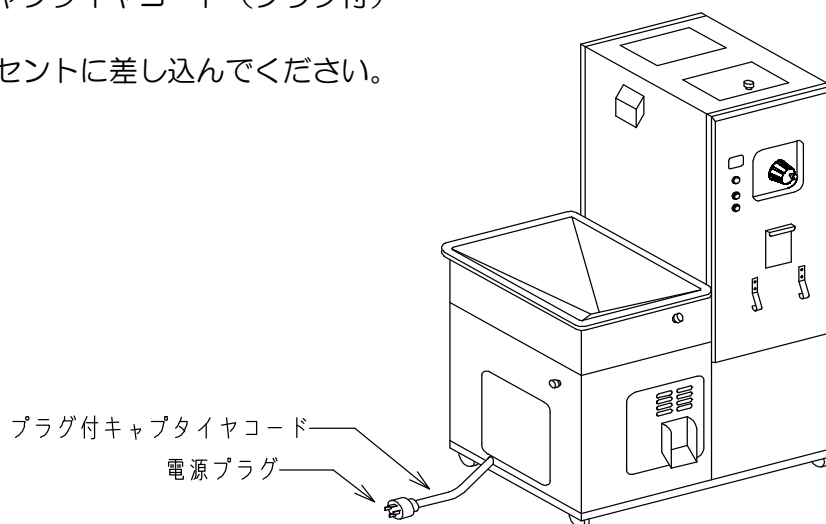
2-9 粳・玄米時の切り換え（2）



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、手を潰したりしないように注意してください。

- ◎ 石抜機左側面にキャプタイヤコード（プラグ付）があります。電源プラグをコンセントに差し込んでください。



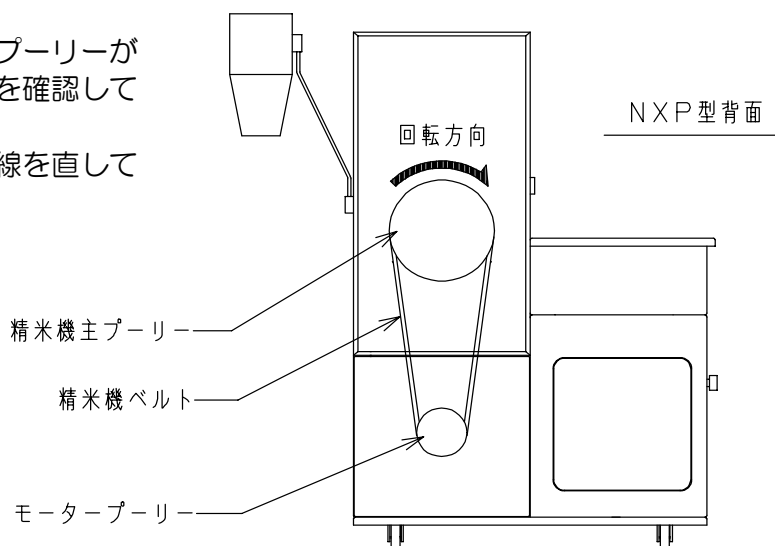
2-11 回転方向の確認に関して



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ベルトに手を挟んだりしないように注意してください。

- ◎ 精米機背面より精米機主プーリーが時計方向に回転することを確認してください。回転方向が違う場合は配線を直してください。



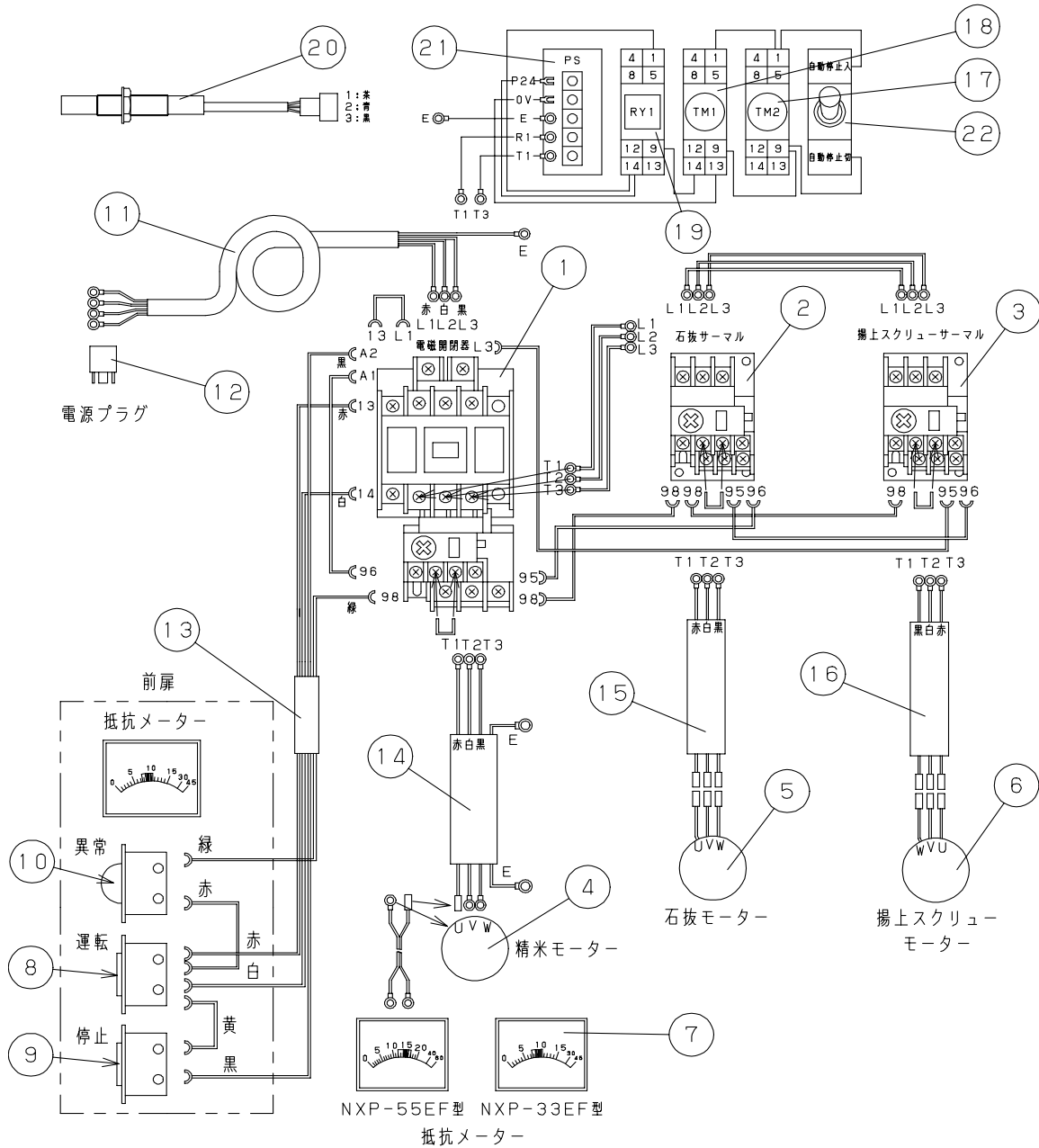
2. ご使用になるまえに

2-12 配線図



警告

点検・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。



2. ご使用になるまえに

2-12 配線図



警告

点検・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

	名 称	型 式 ・ 仕 様	メーカ-
1	電磁開閉器 (NXP-33EF) 電磁開閉器 (NXP-55EF)	SW-3 SW-5-1	富士電機
2	サーマル (0.1kw) 石拔機	TR-ONH型	富士電機
3	サーマル (0.1kw) 揚上装置	TR-ONH型	富士電機
4	精米モーター (NXP-33EF) 精米モーター (NXP-55EF)	三相 2.2kw 三相 3.7kw	
5	石拔モーター	三相 0.1kw	
6	揚上装置モーター	三相 0.1kw	
7	抵抗メーター (NXP-33EF) 抵抗メーター (NXP-55EF)	Y-501K Y-501K	三菱電機
8	運転ボタン	AR22FOR-10G	富士電機
9	停止ボタン	AR22FOR-01R	富士電機
10	異常ランプ	DR22DOL-M4R	富士電機
11	キャプタイヤコードA (NXP-33EF) キャプタイヤコードA (NXP-55EF)	2.0sq×4C 3.5sq×4C	
12	電源プラグ	接地3P 20A (三相)	
13	キャプタイヤコードE	1.25sq×4C	
14	キャプタイヤコードD	2.0sq×4C	
15	キャプタイヤコードC	1.25sq×3C	
16	キャプタイヤコードB	1.25sq×3C	
17	起動タイマー	ADX11115	Panasonic
18	残米タイマー	ADX11072	Panasonic
19	リレー	MY2N DC24V	オムロン
20	センサーセット	静電容量センサー	
21	DC24V電源	PLA15F-24-N1	コーセル
22	切換スイッチ	P-2011	日本開閉器工業

3. 運転方法

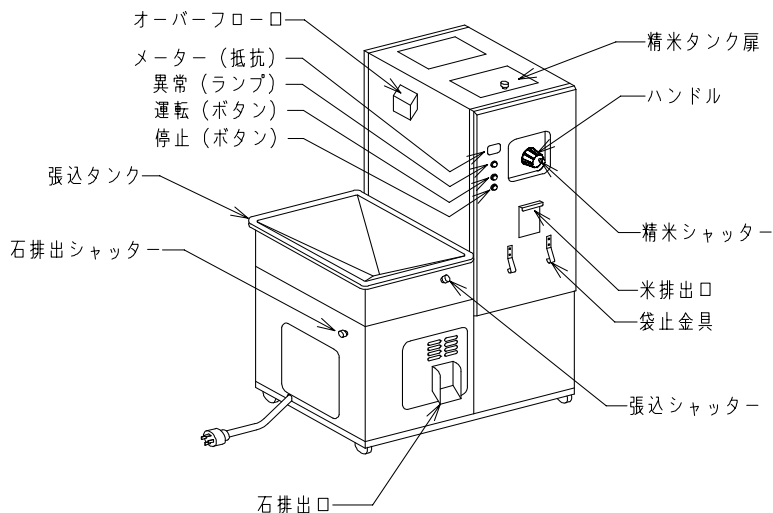
3-1 各操作部の説明



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。

◎ 下記に操作部の用途を説明します。



名 称	用 途 及 び 説 明
メーター (抵抗)	精米は針がグリーンゾーンを超えないようにしてください。
運転 (ボタン)	運転ボタンを押すと本機が運転を開始します。お米が無くなると自動停止します。
停止 (ボタン)	停止ボタンを押すと本機が運転を停止します。
異常 (ランプ)	本機が過負荷状態になったとき点灯します。
精米シャッター	精米を始めるときに引いてください。 (運転をしないときは必ず閉めてください。)
張込シャッター	石抜/精米を始めるときに引いてください。 (運転をしないときは必ず閉めてください。)
石排出シャッター	石を排出するときに引いてください。(3-5: 石の取り出し方参照)
石排出口	石排出シャッターを引くとここから石が排出されます。 (3-5: 石の取り出し方参照)
オーバーフロー口	精米タンクに米が満杯になると、ここから米がオーバーフローします。
ハンドル	米の白度を調整します。 (精米開始時は必ず「O」位置にしてください。)
米排出口	ここを開きますと外部に米が排出されます。 (3-2: 戻し万石の説明を参照)
精米タンク扉	石抜機に残った米などを精米機に供給するとき、扉を開けて米を戻し
袋止金具	袋を止める金具です。

3. 運転方法

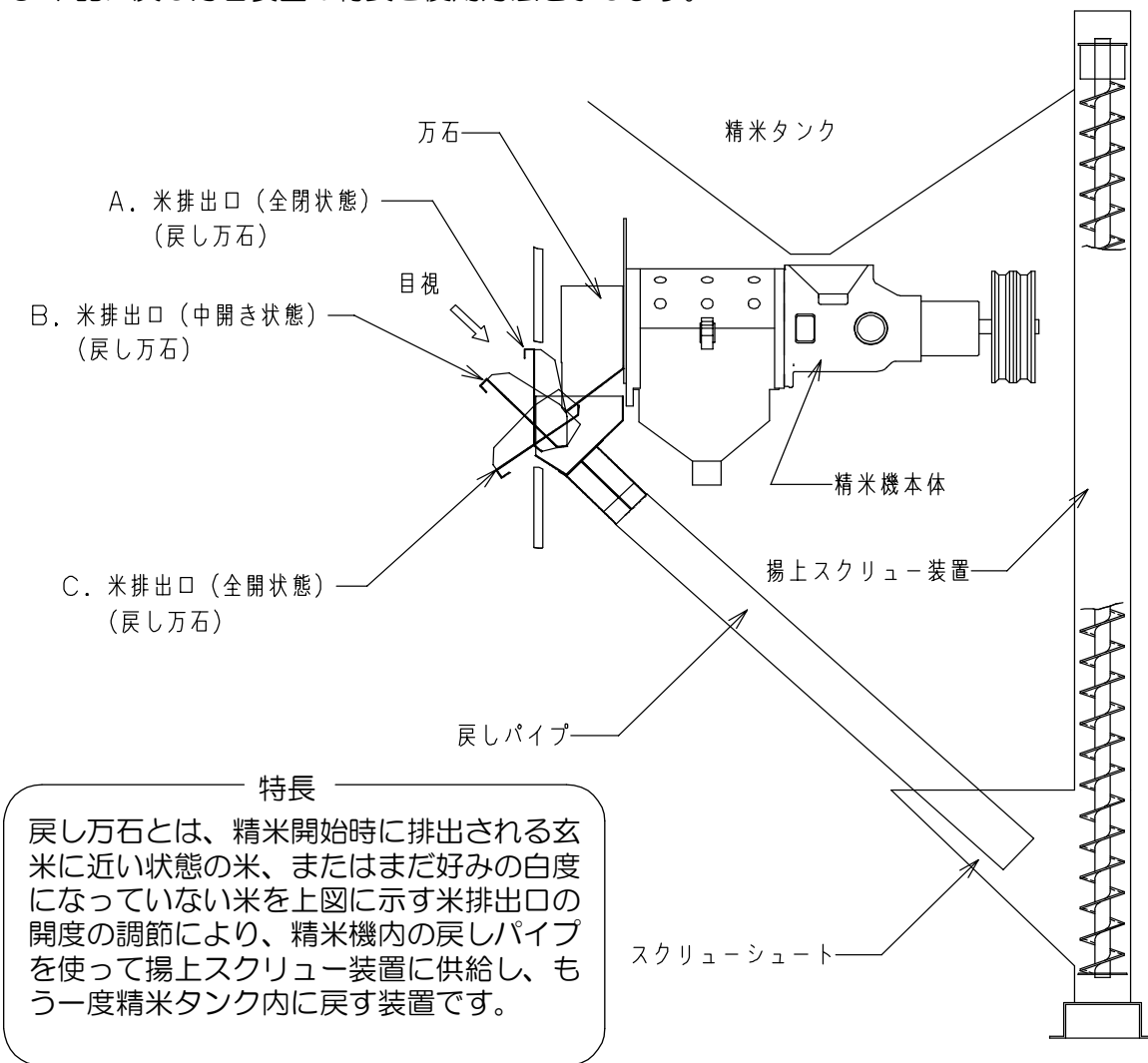
3-2 戻し万石の説明



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。

◎ 下記に戻し万石装置の特長と使用方法を示します。



使用方法

- ① 精米機を作動させます。
- ② 米排出口（全閉状態）を中開き状態にします。
- ③ 精米タンクにある程度米が溜まりましたら、精米シャッターを引きます。
- ④ 万石から排出される米を目で見ながら白度を調節します。
- ⑤ お好みの白度になりましたら、米排出口を全開状態にして外部へ米を排出します。

3. 運転方法

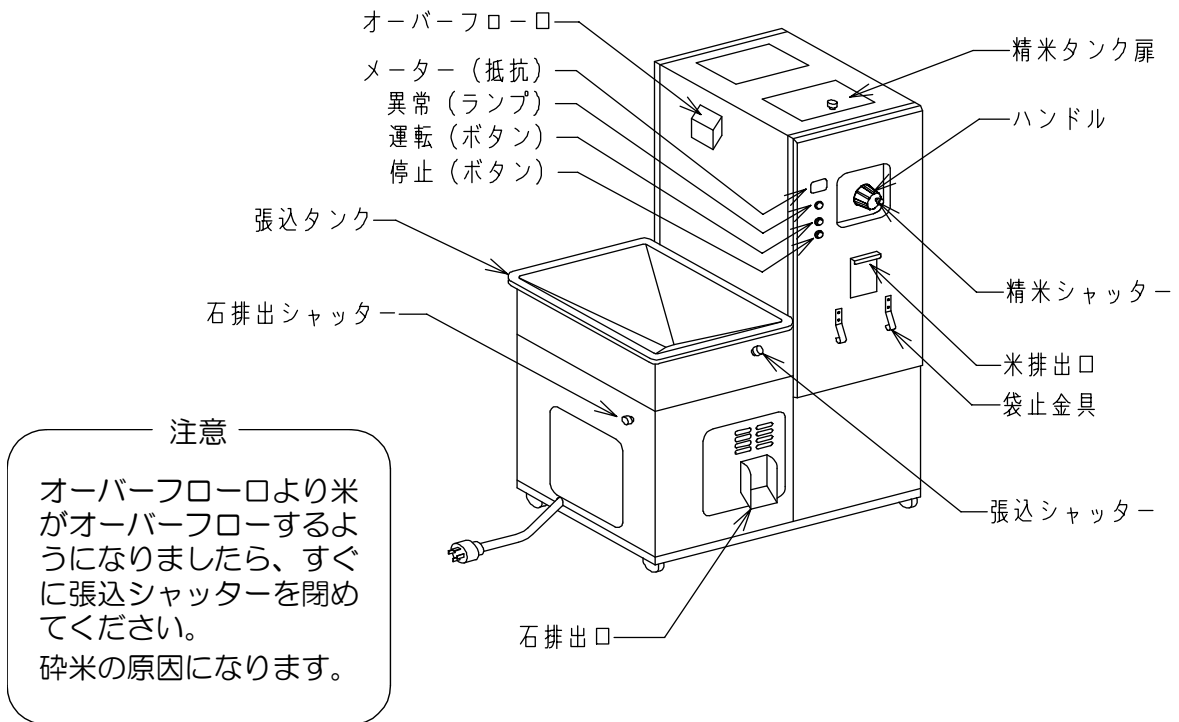
3-3 運転方法



注意

取扱説明書に示す手順通りに運転を行ってください。
それ以外の方法で行いますと安全上支障をきたす場合があります。

◎ 下記に運転手順を説明します。



※ 運転前には、必ず万石セットボルトの締め具合を確認してください。

- ① 張込シャッター・精米シャッター・石排出シャッターが閉まっていることを確認する。
- ② 張込タンクに米を張り込む。
- ③ 運転ボタンを押して精米機を起動させる。
- ④ 米排出口を中開き状態にする。(3-2: 戻し万石の説明参照)
- ⑤ 張込シャッターを引く。
- ⑥ 精米タンクの窓から精米タンクにある程度(約1/3)米が溜まったのを確認してから精米シャッターを引く。
- ⑦ ハンドルを回して白度を調節する。このとき抵抗メーターの針がグリーンゾーンをオーバーしないように注意してください。
- ⑧ 米排出口より米の白度を目視し、お好みの白度になりましたら米排出口を全開にして米を外部に排出します。(3-2: 戻し万石の説明参照)
- ⑨ 精米が終了しましたら機械は自動停止します。
精米途中で機械を停止させたい場合は、停止ボタンを押して精米機を停止させます。
- ⑩ 精米シャッター・張込シャッターを閉める。
- ⑪ ハンドルを「0」に戻してください。

3. 運転方法

3-4 玄米排出方法

※ 玄米排出方法（玄米排出機構）

玄米排出目盛りに抵抗ハンドルの位置を合わせると、精米しないで玄米のみ排出されます。

お米に対する嗜好の広がりから玄米に付着・混入した粉塵の除去がでく、より良い玄米を得ることができます。

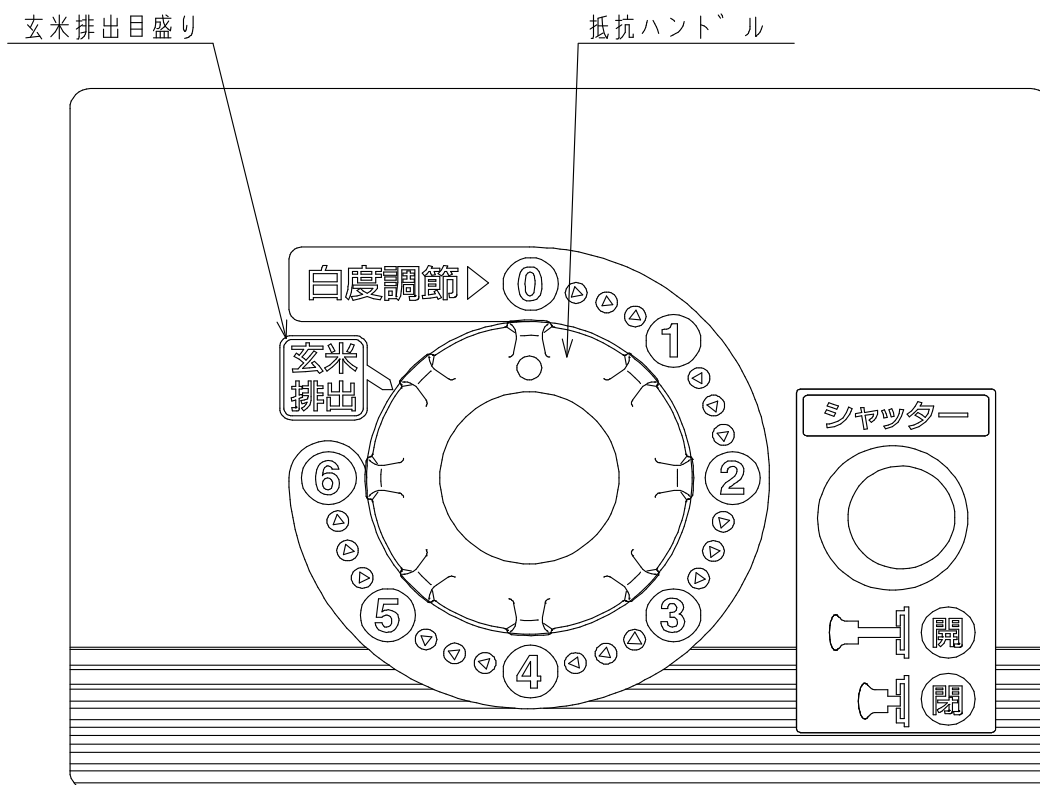
玄米を健康のためお召し上がりの方には、石抜処理・粉塵を除去した玄米は安心して食せます。

（注意）

- NXP型は搗精部に残留米がありますので、残留米を取り除いてから玄米排出を行ってください。（最初に残留米が混入します。）
- 稀にお米の品種や状態によって、玄米排出時に自動停止が作動する場合があります。お米を精米タンクに貯めてから作業を行ってください。（石抜機能率より玄米排出能率が勝る場合があるため）

※ 無段階抵抗カム

精米白度調節には、3ぶ搗きから精白米までお客様の嗜好沿った精米ができるよう無段階抵抗カムを採用しております。



3. 運転方法

3-5 異常ランプが点灯したときのリセット方法

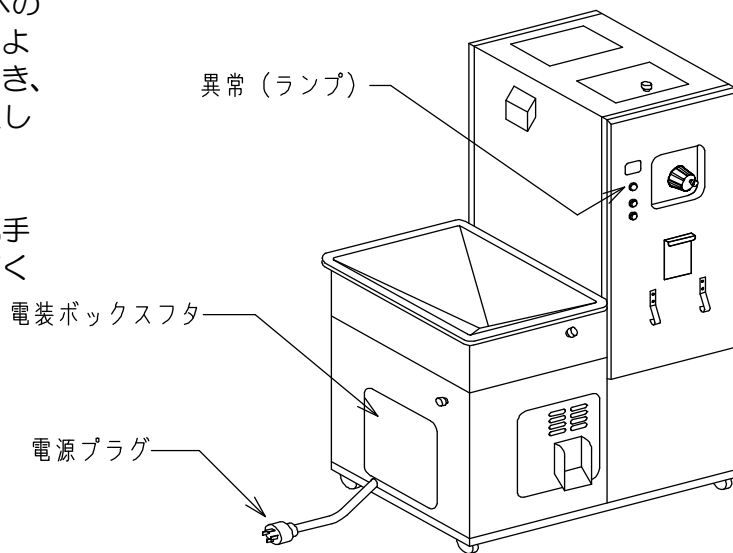


警告

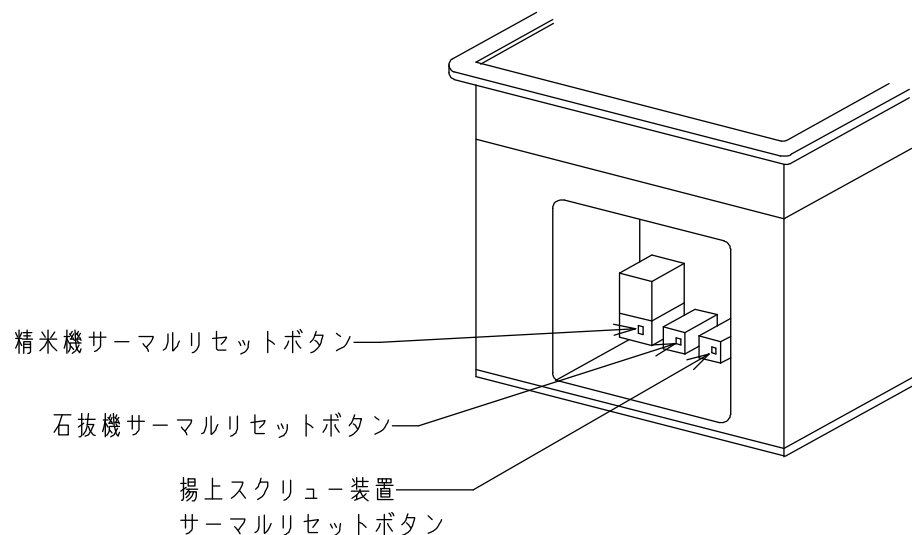
作業を行う場合、必ず電源プラグを抜いてください。
感電する危険性があります。

◎ 白度の上げ過ぎ・精米機内への異物混入・ベルトの緩みなどにより本機が過負荷状態となったとき、異常ランプが点灯し機械が停止します。

速やかに原因を取り除き、下記手順にてサーマルリセットしてください。



- ① 電源プラグを抜く。
- ② 過負荷異常になった原因を取り除いてください。
- ③ 電装ボックスフタを外す。
- ④ 電装ボックスフタを外しますと中が下図のようになっています。各リセットボタンを押してください。
- ⑤ 電装ボックスフタを閉める。
- ⑥ 電源プラグを差し込み異常ランプが消灯しているのを確認する。



3. 運転方法

3-6 石の取り出し方

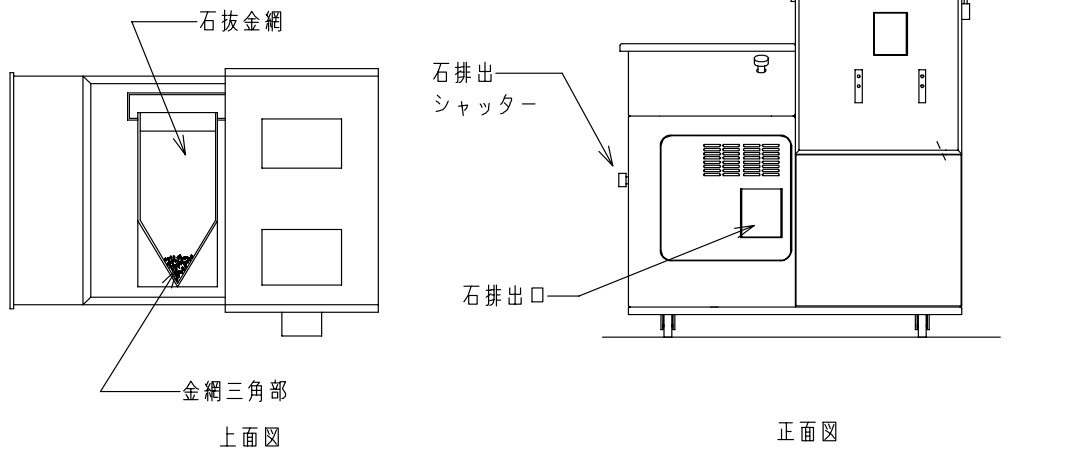


警告

作業を行う場合身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 石は石抜金網の機械正面側の三角部に集まります。石は運転中でないと取り出せませんので、運転ボタンを押して機械を作動させてください。

下記に示す手順で石を取り出してください。



- ① 運転ボタンを押して機械を作動させます。
- ② 石抜正面の石排出口の下に石を入れる容器をセットします。
- ③ 石抜左側面の石排出シャッターを引いて開きます。

機械動作中に石排出シャッターを引いて開きますと、石抜正面の石排出口より金網三角部に溜まった石が金網上部に残っている残米と一緒に排出されます。

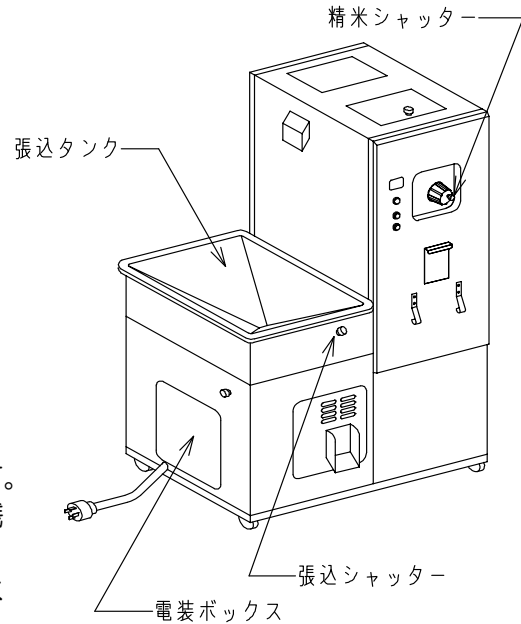
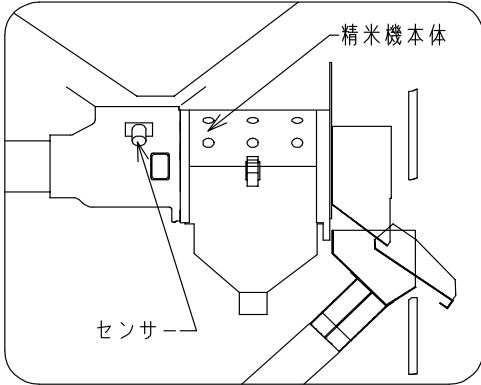
- ④ 最初は石と残米が混ざって出てきます。石と残米が混ざらなくなったら（残米のみ）石排出シャッターを閉めてください。
- ⑤ 別の容器を準備してもう一度石排出シャッターを引いて開きます。石抜金網上の残米をすべて排出します。
- ⑥ 残米の排出をすべて終わりましたら石排出シャッターを閉めてください。排出した残米は精米タンク扉から精米タンクにいれてください。

3. 運転方法

3-7 自動停止について

警告

作業を行う場合身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにしてください。
安全上支障をきたす場合があります。

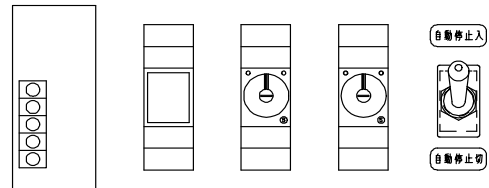


◎ 本機はお米が無くなるか、または精米シャッターを閉めると数秒後に自動停止します。自動停止する時間は、電装ボックス内にある残米タイマーで設定します。出荷時は10秒に設定してあります。ただしお米の品質・性状により調整が必要です。残米タイマー時間は長くしたり、短くしたり調整することができます。

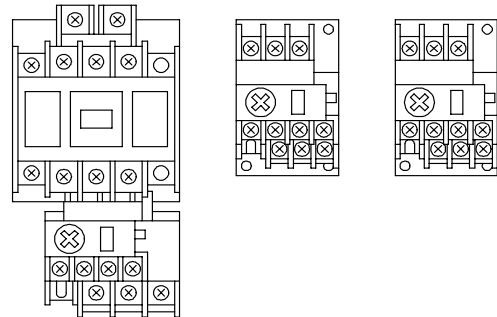
◎ 残米タイマーの隣にある起動タイマーは、お米の有無に関わらず機械を作動させる時間を設定します。玄米は石抜機上部の張込タンクに貼り込みますが、玄米が張込タンクから精米本体へ移るまでの間センサーがお米を検知しない為です。出荷時は45秒に設定してあります。運転ボタンを押してからタイマー設定時間内に精米を開始（精米シャッターを開く）してください。起動タイマーは60秒まで長くすることができます。センサーがお米を検知しない場合は、機械は自動停止します。

◎ 石抜作業やメンテナンス等のため本機を自動停止させたくない場合は、電装ボックス内の切換スイッチを「自動停止切」にしてください。機械は動き続けます。「自動停止切」にした場合は、停止ボタンを押して本機を停止させてください。出荷時は「自動停止入」に設定してあります。

DC電源 RY1 残米タイマー 起動タイマー 切換スイッチ



電磁閉閉器（精米機サーマル付） 石抜サーマル 揚上スクルーサーマル



電装ボックス内

4. 各部の調整・点検・掃除

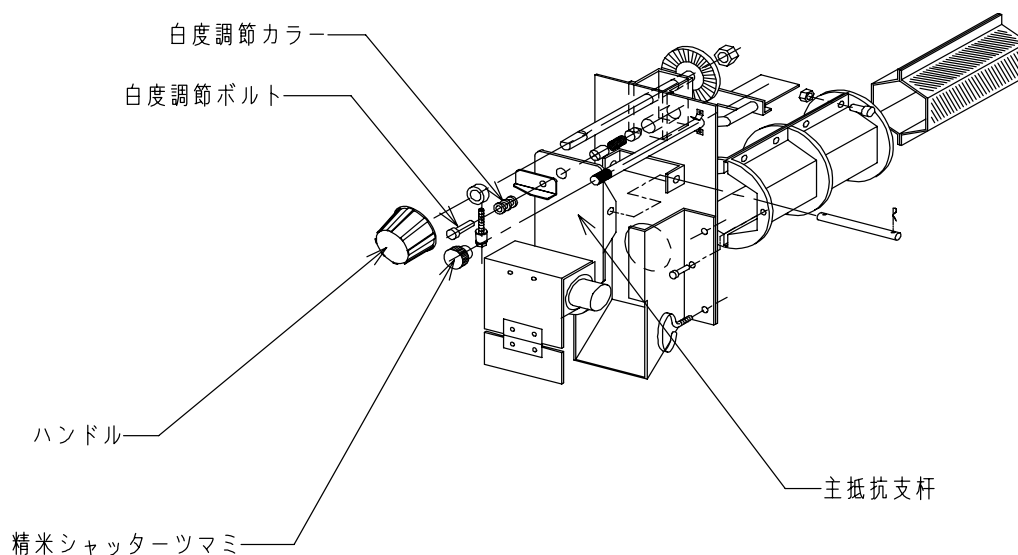
4-1 白度の調整



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 米の白度の調節は、精米機操作部のハンドルの調節にて行います。
このハンドルの調節だけでの白度では十分に満足いただけない場合は、下記の方法にて白度の調節をしてください。
ただし、白度をあまり上げ過ぎますと精米機が過負荷状態となりますので、充分注意してください。



- ① 前扉を開ける。
- ② ハンドルを引き抜いて取り外す。
- ③ 主抵抗支杆が見えます。
主抵抗支杆の上方に白度調節カラーと白度調節ボルトがあります。
白度調節ボルトを外して白度調節カラーを希望の白度になる枚数分だけ外します。
白度調節カラーを1枚外すと白度が抵抗の1目盛り分全体的に上がります。
- ④ 調節が終わりましたら元通りに戻してください。

4. 各部の調整・点検・掃除

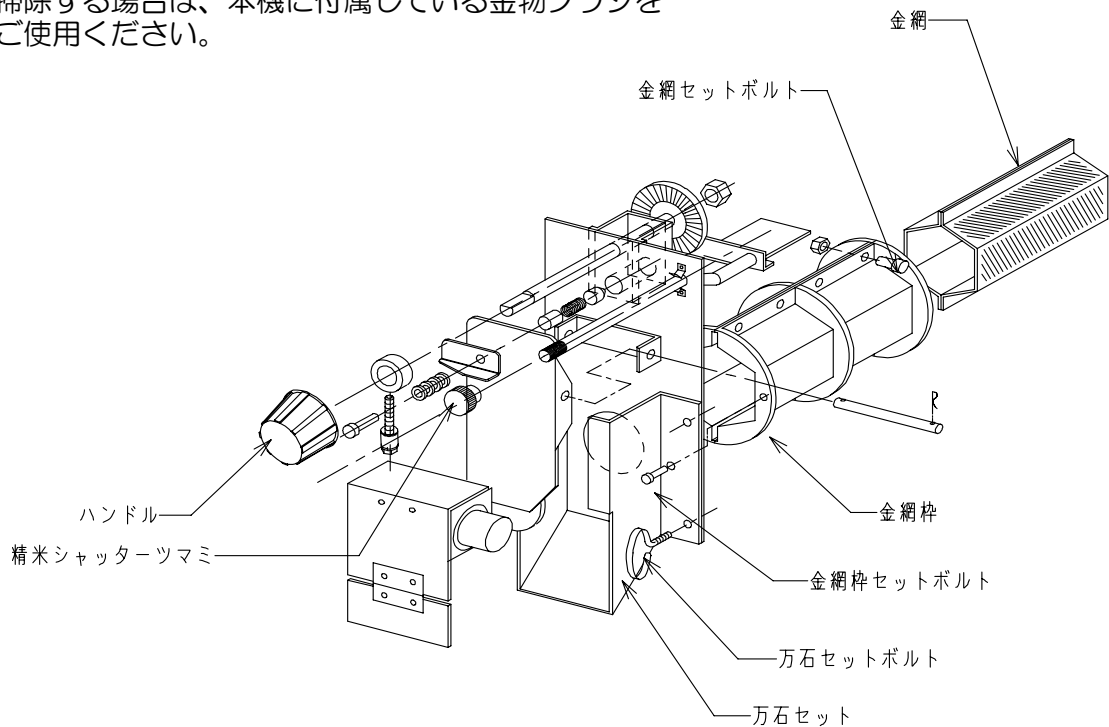
4-2 金網の掃除及び交換方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 下記に示す手順で掃除及び交換を行ってください。
掃除する場合は、本機に付属している金物ブラシをご使用ください。



- ① 米排出口と精米シャッターを閉めてください。
- ② 前扉を開けて、精米シャッターツマミを外します。
- ③ 万石セットが見えます。
万石セット左右上下の万石セットボルト（4本）を外します。
- ④ 万石セットを手前に引き抜きます。
（万石セットと金網枠がセットされた状態で外れます。）
- ⑤ 付属の金物ブラシで金網の糠付着・目詰まり等を掃除してください。

（金網を交換する場合は下記手順にて行ってください。）

- ⑥ 取り出した万石セットの左右真ん中の金網枠セットボルト（2本）を外します。
（万石セットと金網枠が分離します。）
- ⑦ 金網枠の金網セットボルト（上下4本）を緩めます。
- ⑧ 金網セットボルトを緩めると中の金網を取り出せます。
交換してください。
（注意）金網枠から金網が飛び出さないように、平らにして取り付けてください。
- ⑨ 元通りに戻してください。

4. 各部の調整・点検・掃除

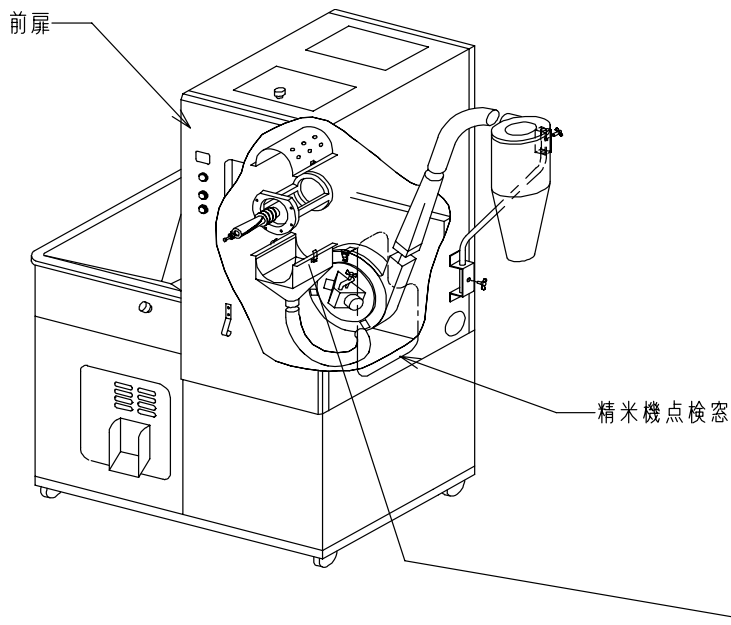
4-3 吸引シュートの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

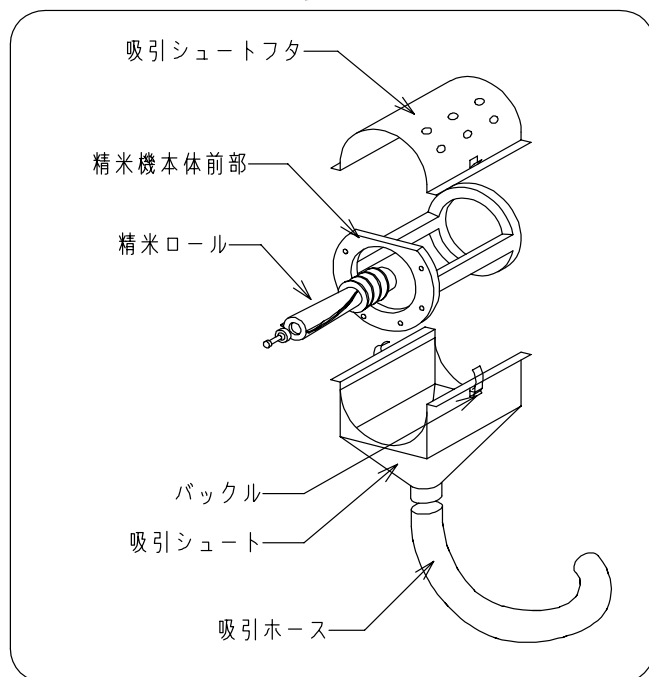
◎ 下記に示す手順で掃除を行ってください。



前扉を開けるまたは点検窓を外しますと、吸引シュートが見えます。

吸引ホースを外して吸引シュート側面のバックル（2個）を外すと、吸引シュートを下に開くことができます。

吸引シュート・吸引シュートフタ及び吸引ホース内を掃除してください。



4. 各部の調整・点検・掃除

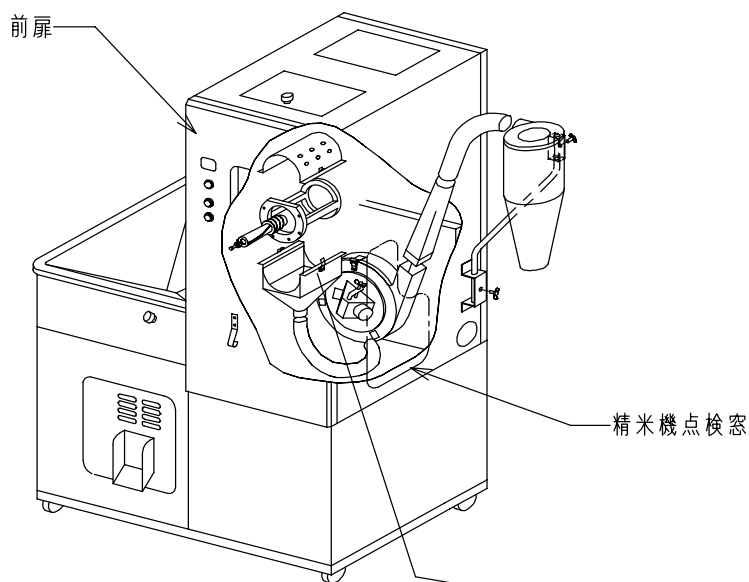
4-4 吸引ファンの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

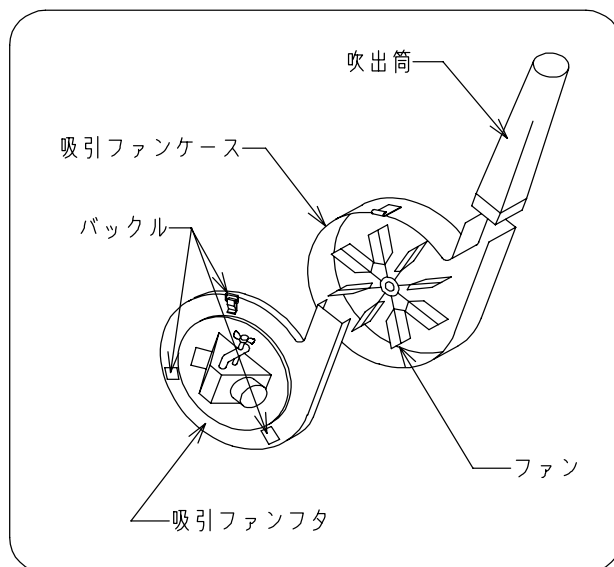
◎ 下記に示す手順で掃除を行ってください。



前扉を開けるまたは点検窓を外しますと、吸引ファンセットが見えます。

吹出筒を外して吸引ファンフタバックル（3個）を外すと吸引ファンフタが取り外せます。吸引ファンフタを取り外しますと中にファンがあります。

ファン・吸引ファンケース・吸引ファンケースフタに付着した糠を取り除いてきれいに掃除してください。



4. 各部の調整・点検・掃除

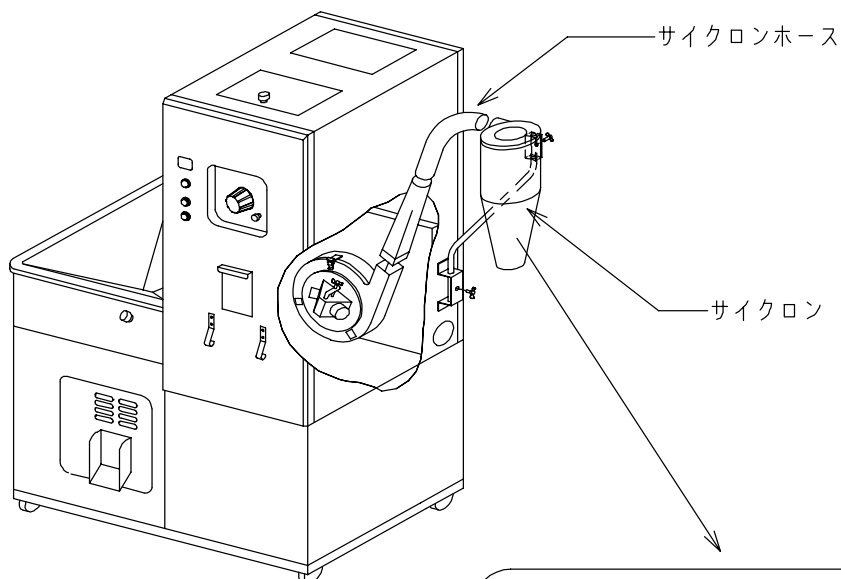
4-5 サイクロンの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

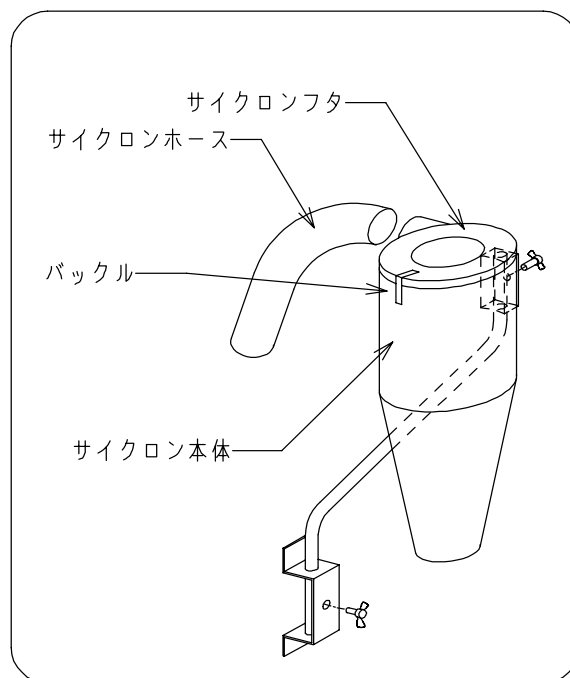
◎ 下記に示す手順で掃除を行ってください。



サイクロンホースを外します。
サイクロンのバックル（3個）を外すとサイクロンフタが取り外せます。

サイクロン内部に付着した糠を取り除いてきれいに掃除してください。

また、サイクロンホース内の付着した糠を掃除してください。



4. 各部の調整・点検・掃除

4-6 精米ロールの掃除方法

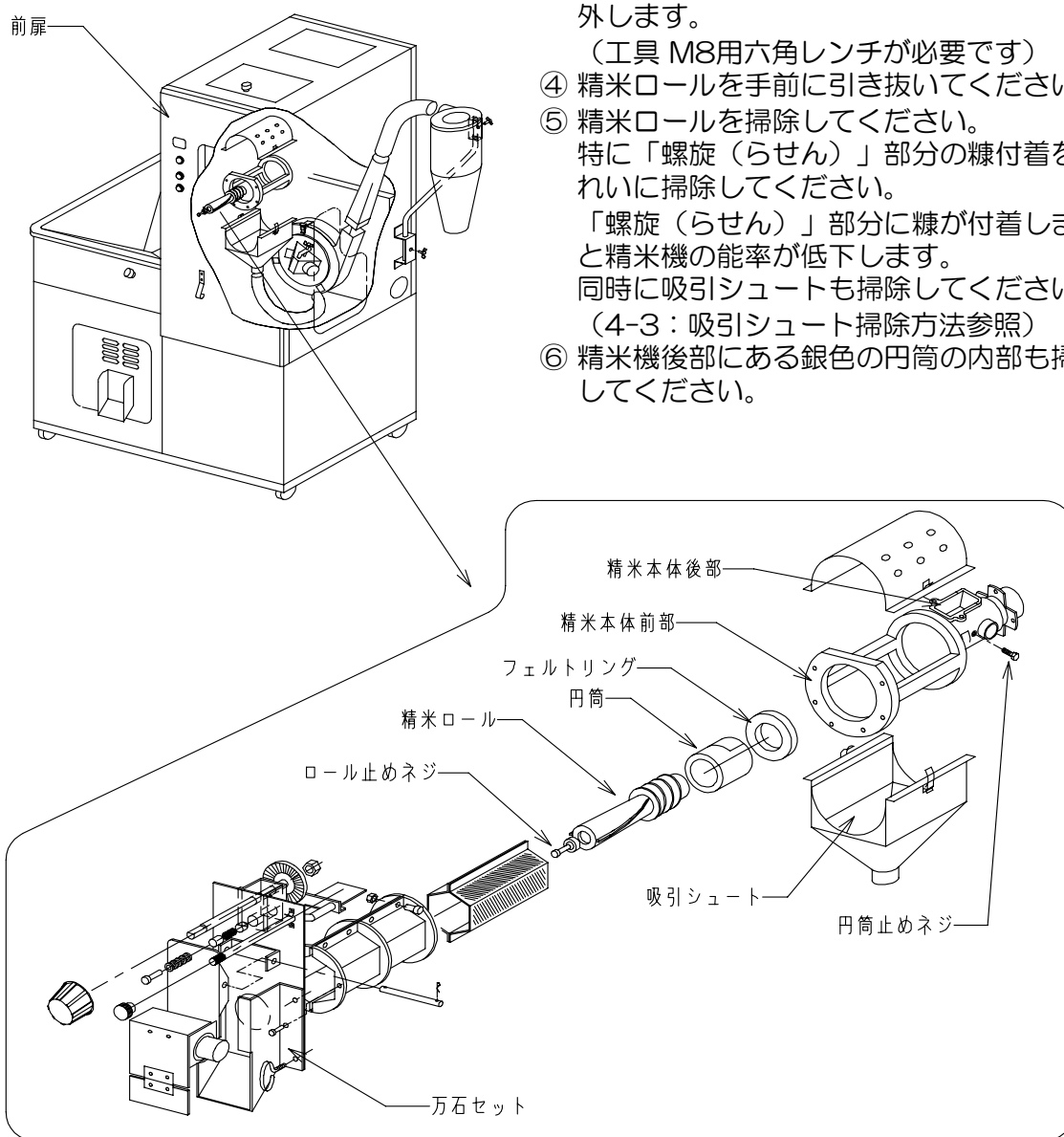


警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 下記に示す手順で掃除を行ってください。

- ① 万石セット及び金網セットを取り外します。
(4-2：金網の掃除及び交換方法参照)
- ② 万石セットを外すと中に精米ロールが見えます。
- ③ 精米ロールの先端にあるロール止めネジを外します。
(工具 M8用六角レンチが必要です)
- ④ 精米ロールを手前に引き抜いてください。
- ⑤ 精米ロールを掃除してください。
特に「螺旋(らせん)」部分の糠付着をきれいに掃除してください。
「螺旋(らせん)」部分に糠が付着しますと精米機の能率が低下します。
同時に吸引シュートも掃除してください。
(4-3：吸引シュート掃除方法参照)
- ⑥ 精米機後部にある銀色の円筒の内部も掃除してください。



4. 各部の調整・点検・掃除

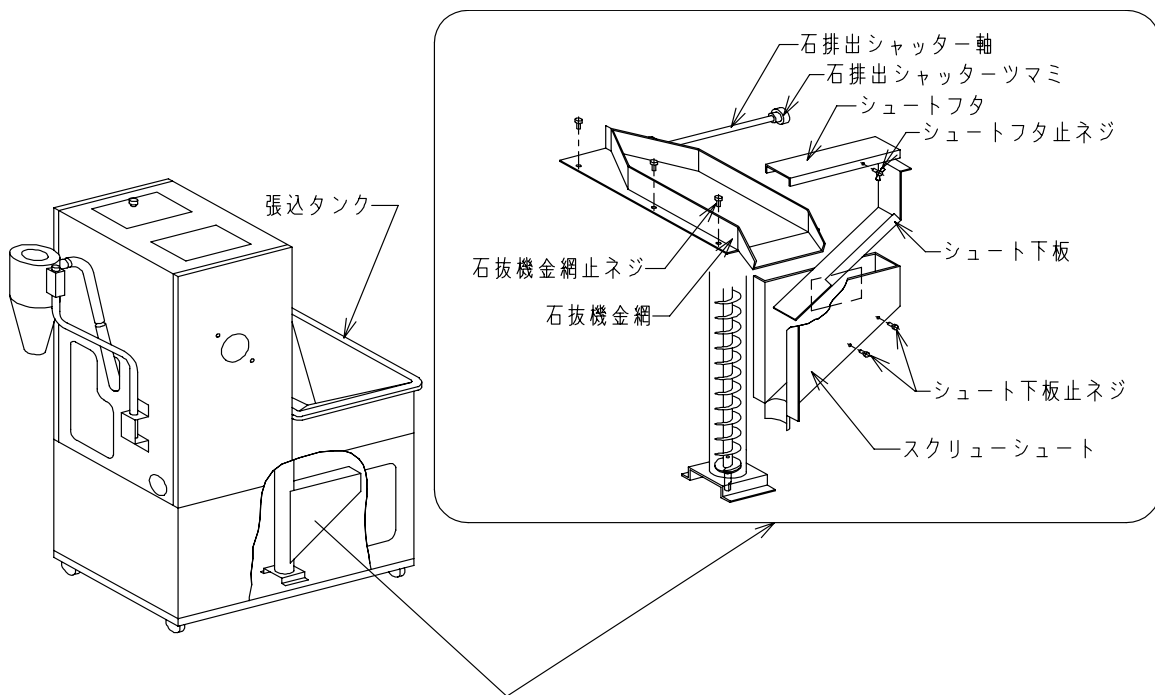
4-7 揚上スクリーンシュートの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ スクリーンシュートに糠が付着しますと石抜き機から精米機へ搬送される能率が低下し、石抜き機の下またはシュートの下などに米がこぼれる場合があります。下記の手順にて掃除してください。



- ① 張込タンクを開きますと中に石抜き機金網・スクリーンシュートが見えます。
- ② 石排出シャッターツマミ及び石抜き機金網止めネジ（6個）を外して、石抜き機金網を取り外します。
（シャッターツマミは反時計方向へ回すと外れます。）
- ③ シュートフタ止めネジ（1個）を外して、シュートフタを取り外します。
- ④ シュートフタを取り外すとシュートの底板部分が見えますので、付着している糠・ホコリ等を拭きとってきれいに掃除してください。
- ⑤ 同時に石抜き機金網の表面・裏面の糠・ホコリ等もきれいに掃除してください。

付着している糠・ホコリ等が取れにくい場合は、シュート下板止めネジ（2本）外して、シュート下板を取り出して掃除してください。

4. 各部の調整・点検・掃除

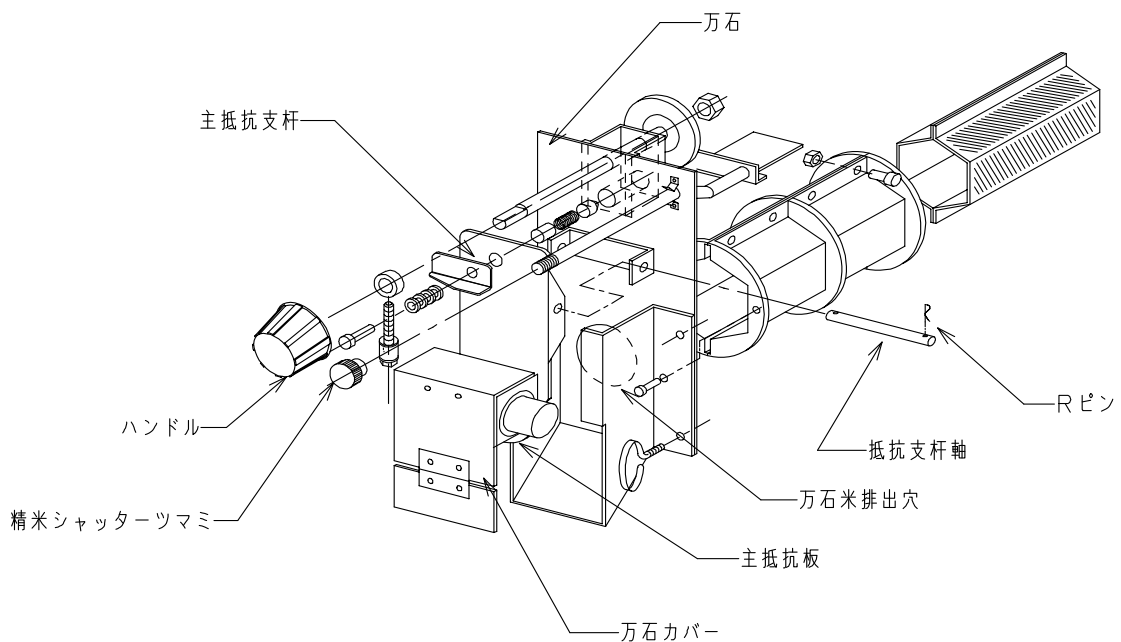
4-8 主抵抗支杆及び主抵抗板の掃除方法



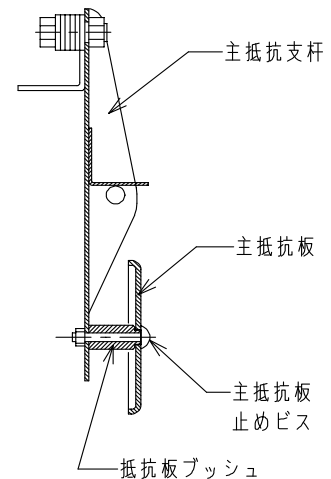
警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 主抵抗支杆及び主抵抗板に糠が付着すると、「ムラツキ」の原因となります。
下記に示す手順で掃除を行ってください。



- ① 米排出口と精米シャッターをます。
- ② ハンドルを左に回して抵抗を「0」にします。
- ③ ハンドルを引き抜いて取り外します。
- ④ 万石カバーを手前に引いて取り外します。
- ⑤ 主抵抗支杆に挿入されている抵抗支杆軸の片方のRピンを外して、抵抗支杆軸を引き抜いて取り外します。
抵抗支杆軸を取り外すと同時に主抵抗支杆が外れます。
- ⑥ 主抵抗支杆の下方に主抵抗板があります。
この主抵抗板の回りをきれいに掃除し、主抵抗板が手で軽く回ることを確認してください。
また、主抵抗板が当たる万石の米輩出穴回りにも糠が付着していないか確認してください。
(右図に主抵抗支杆と主抵抗板の詳細図を示します)
- ⑦ 掃除が終わりましたら、元通りに戻してください。



4. 各部の調整・点検・掃除

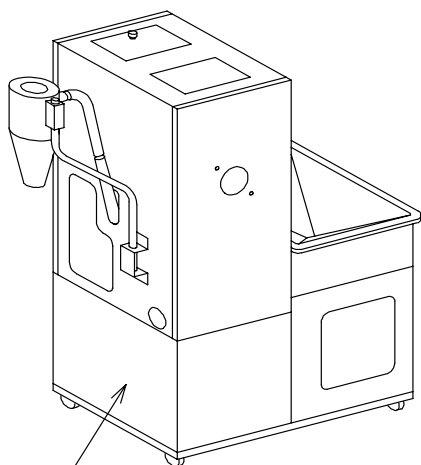
4-9 精米機ベルトの張り方



警告

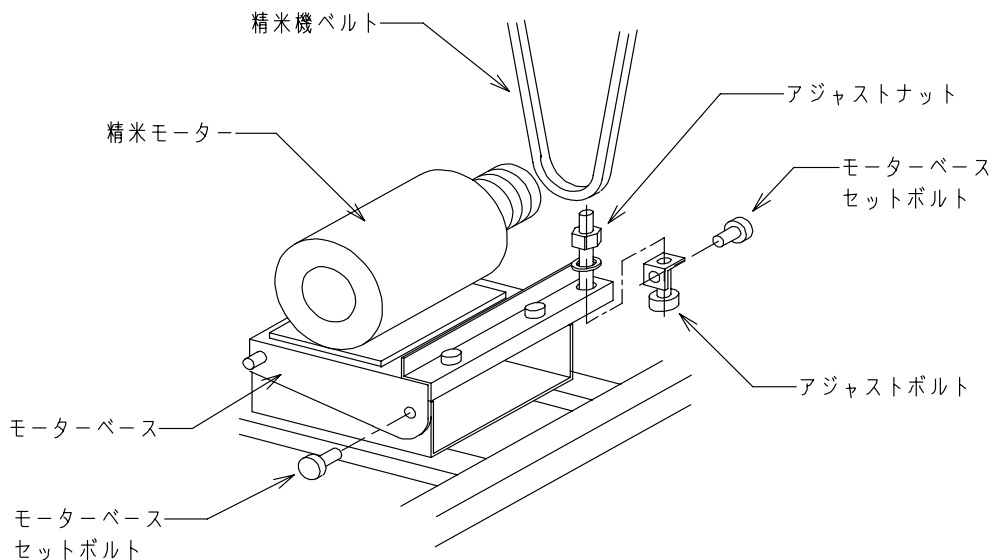
点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 下記に示す手順にてベルトを張ってください。
ベルトの点検は本機の運転前に必ず行ってください。



精米機下部右板

- ① 精米機下部右板を取り外します。
右板を外すと中は下図のようになっています。
- ② モーターベースセットボルト（2個）を緩めます。
- ③ アジャストナットを時計方向に回してベルトを張っていきます。
- ④ ベルトを適度に張りましたら、モーターベースセットボルトを締めます。



4. 各部の調整・点検・掃除

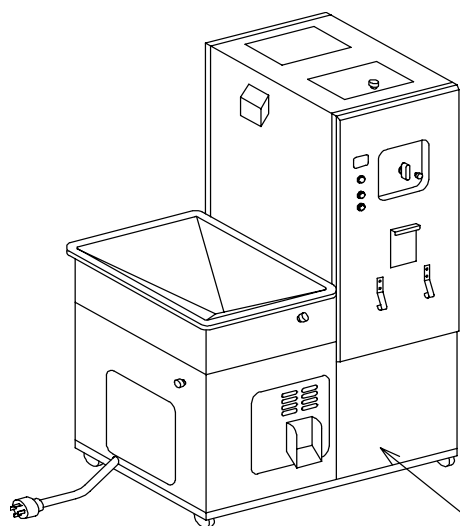
4-10 石抜機ベルトの張り方



警告

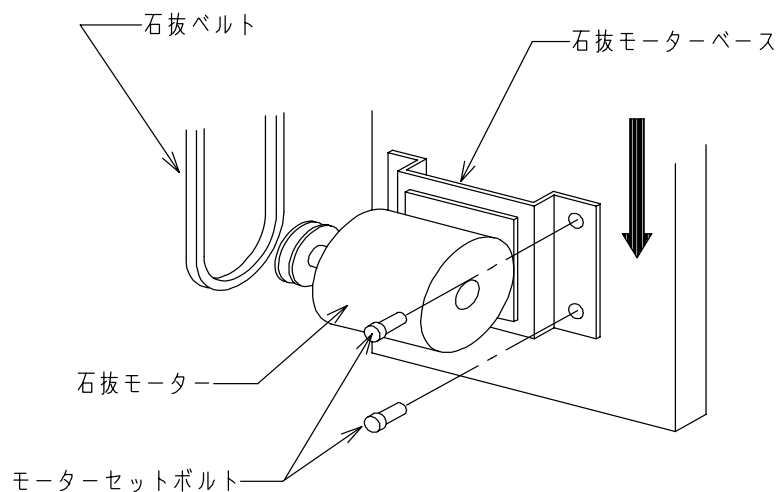
点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 下記に示す手順にてベルトを張ってください。
ベルトの点検は本機の運転前に必ず行ってください。



精米機下部前板

- ① 精米機下部前板を取り外します。
前板を外すと中は下図のようになっています。
- ② モーターセットボルト（2個）を緩めます。
- ③ 手で下方（下図矢印方向）へモーターを押し下げてベルトを張ります。
- ④ ベルトを適度に張りましたら、モーターセットボルトを締めます。



4. 各部の調整・点検・掃除

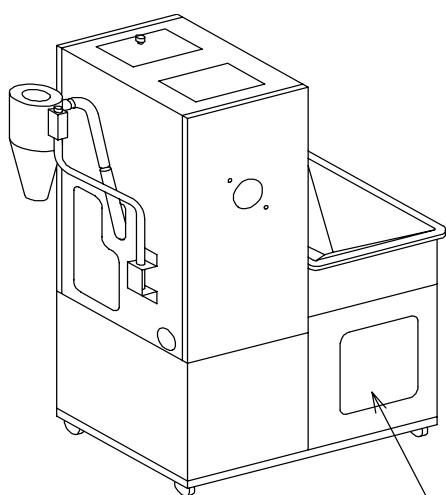
4-11 揚上スクリー装置のベルトの張り方



警告

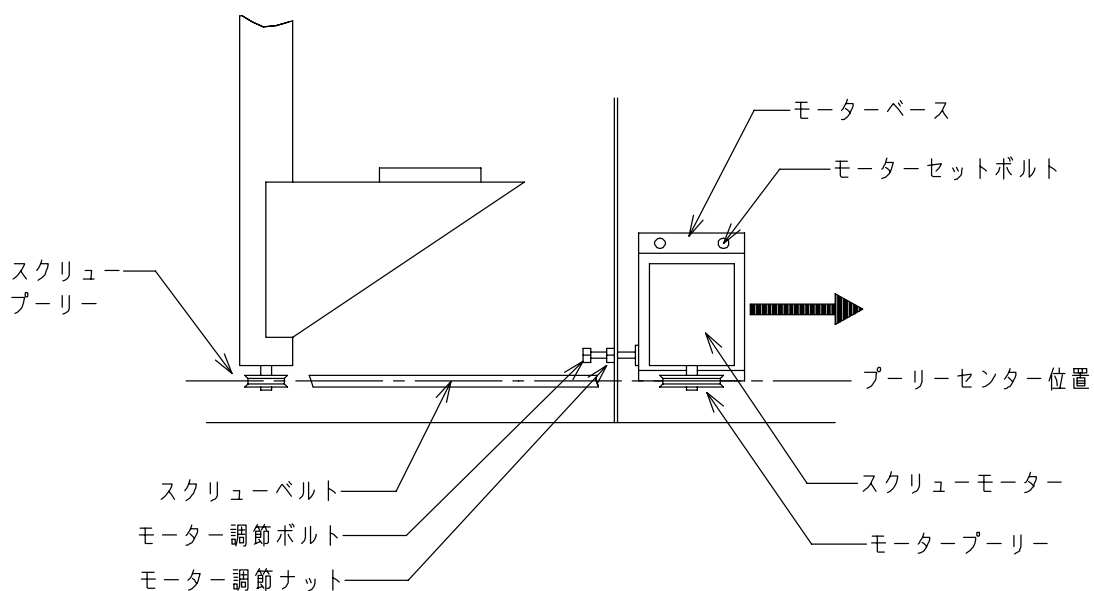
点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 下記に示す手順にてベルトを張ってください。
ベルトの点検は本機の運転前に必ず行ってください。



石抜機後部窓板

- ① 石抜機後部窓板を取り外します。
窓板を外すと中は下図のようになっています。
- ② モーターセットボルト（2個）を緩めます。
- ③ モーター調節ナットを緩めます。
- ④ モーター調節ボルトを時計方向に回してモーターを下図矢印方向へ移動させてベルトを張ります。
- ⑤ ベルトを適度に張りましたら、モーター調節ナットを締めます。
- ⑥ モーターセットボルト（2個）を締めます。
- ⑦ モータープーリー及びスクリープーリーのセンター位置もご確認ください。



4. 各部の調整・点検・掃除

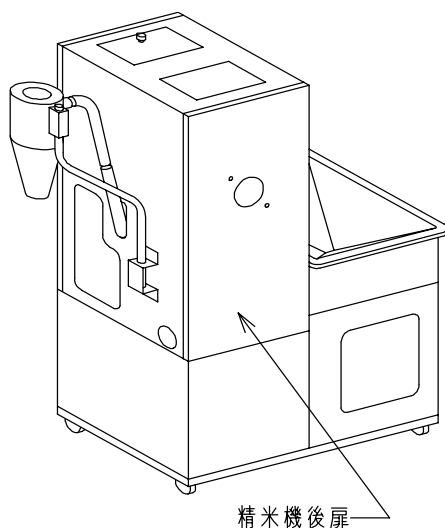
4-12 ファンベルトの張り方



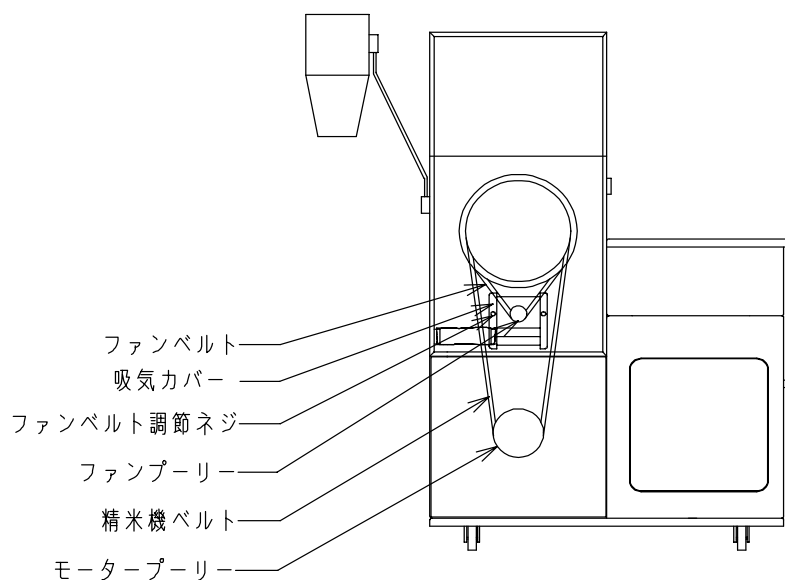
警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 下記に示す手順にてベルトを張ってください。
ベルトの点検は本機の運転前に必ず行ってください。



- ① 精米機後扉を開けます。
扉を開けると中は下図のようになっています。
- ② ファンプーリーの左右にあるファンベルト調節ネジ（2個）を緩めます。
- ③ 吸気カバーを下方方向に軽く手で押し下げてベルトを張ってください。
ファンプーリーが下方方向に下がります。
- ④ ベルトが張り終わりましたら、ファンベルト調節ネジを締めてください。



NXP型背面

5. 無洗米造りの精米装置として

5-1 無洗米造りの精米装置としてご使用の場合



警 告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

① NXP-55EF型は低コストで手軽な無洗米造りの設備とすることができます。精米機の優れた特長を生かし2回精米することにより乾式無洗米並み以上の精白米を得ることができます。炊飯する際には、無洗米モードによる炊き分けは必要なく従来の白米炊飯で炊き上げることができます。

② NXP-55EF型を無洗米造りの精米装置としてご使用になられる場合は、下記の方法をお勧め致します。

◎ NXP-55EF型 + 昇降機3.5インチ + NXP-55EF型 + 小米取機V-3型

◎ 既存の精米機（業務用精米機） + 昇降機3.5インチ + NXP-55EF型 + 小米取機V-3型

※ 1番精米機にて精米後は昇降機で2番精米機の精米タンクへ投入する。

NXP-55EF型にて精米し、小米取機V-3型で碎米を取り除く。

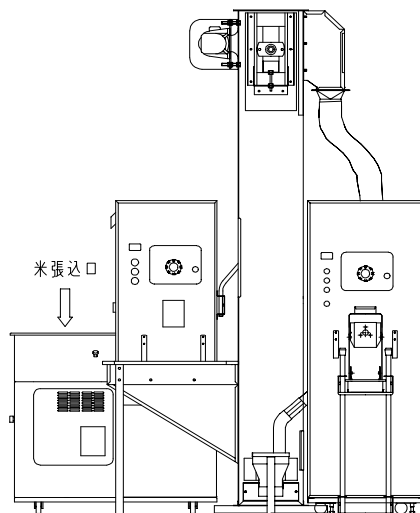
◎ ZXP-55EF型 + MRT-3EF型 + 小米取機V-3型

※ NXP-55EF型にて精米後は昇降機（MRT-3EF型付属品）でMRT-3EF型精米タンクへ投入する。

MRT-3EF型で精米し、小米取機V-3型で碎米を取り除く。

③ NXP-55EF型を2番精米機（仕上げ精米機）としてご使用される場合は、1番機・2番機の精米能率バランスを取ってください。1番機より2番機の精米能率が大きい場合は、2番機の自動停止を「切」にしてご使用ください。

※ 玄米からの歩留まり89%程度の仕上げですと、糠の臭みが残る場合があります。米の品質・気象条件等により搗精具合が変化しますので、出来るだけ玄米からの歩留まり87～88%程度を狙って仕上げてください。



6. 不調なときの原因と対策

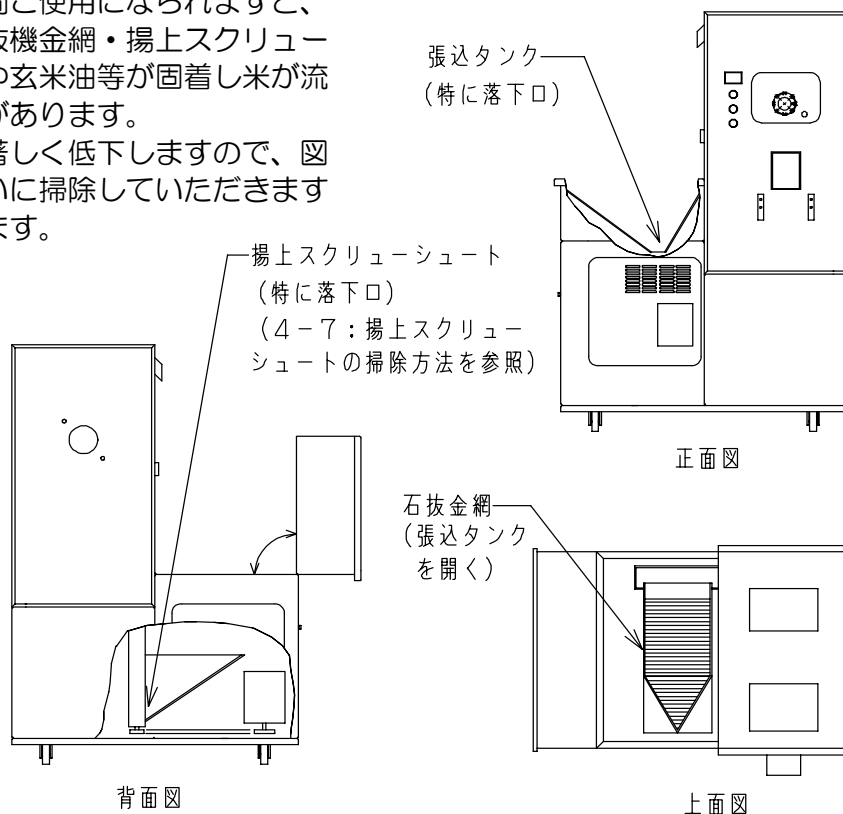
6-1 石抜機の能率が低下したときは



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ① 掃除せずに長期間ご使用になられますと、張込タンク・石抜機金網・揚上スクリーシュートに米糠や玄米油等が固着し米が流れなくなる場合があります。
石抜機の能率が著しく低下しますので、図示の箇所をきれいに掃除していただきますようお願い致します。




- ② 石抜機または揚上スクリー装置のベルトが緩んでいないか確認してください。
(4-10: 石抜機ベルトの張り方 / 4-11: 揚上スクリー装置のベルトの張り方参照)
- ③ 冷蔵庫(保冷库)で低温保管(10度以下)されたお米をすぐに精米しますと、上記と同じ現象となりますので冷蔵庫(保冷库)から出して1日程室温になじませて常温に戻してから精米してください。
低温米をすぐ精米するときには、外気温との温度差によりタンク・金網・落下口などの米の通路に水滴が溜まり玄米がスムーズに流れなくなりますので、水滴をよく拭きとってご使用ください。

老化米・クズ米・半ツキ米などは
石抜機の能率が著しく低下します

6. 不調なときの原因と対策


6-2 不調な時の原因と対策一覧（1）

	警告	<p>点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。</p> <p>安全上支障をきたす場合があります。</p>
---	----	---

状 態	原 因	対 策
精米機が作動しない	電源が入っていない	電源及び配線を確認してください
	サーマルが作動している (過負荷異常ランプが点灯している)	原因を取り除きサーマルをリセットしてください
	操作が間違っている	取扱説明書に従って操作してください
ブレーカーが作動する (サーマルが作動する)	必要以上に白度を上げ過ぎる	抵抗を弱めにしてください
	ベルトが緩んでいる	各ベルトを適正に張ってください
	精米機・石抜機・揚上スクリー 装置内に異物が混入している	各装置を調査して異物を取り除いてください
	電源または配線上で異常である	電源及び配線を確認してください
	吸引ファン・吸引シュート・サイ クロン等に糠が詰まっている	取扱説明書に従って各部の掃除を行ってください
白度が上がらない 糠ハケが悪い	吸引ファン・吸引シュート・サイ クロン等に糠が詰まっている	取扱説明書に従って各部の掃除を行ってください
	金網・ロールに糠が付着している	取扱説明書に従って各部の掃除を行ってください
	金網・ロール等が磨耗している	金網・ロールを交換してください
	ベルトが緩んでいる	各ベルトを適正に張ってください
碎米が多く発生する	米の品種及び状態による場合	抵抗を「0」に戻して再調節
	必要以上に白度を上げ過ぎる	抵抗を弱めにしてください
	米に胴割れが多い	
	精米機内に異物が混入している	調査して異物を取り除いてください
精米に時間が掛かる	ベルトが緩んでいる	各ベルトを適正に張ってください
	金網・ロール等が磨耗している	金網・ロールを交換してください
	ロールに糠が付着している	取扱説明書に従って掃除を行ってください
	石抜機の能率が低下し、張込に時 間が掛かっている	スクリーシュート・石抜金網・ 張込タンクを掃除してください

6. 不調なときの原因と対策

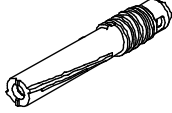
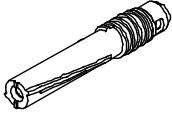
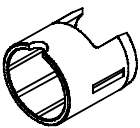
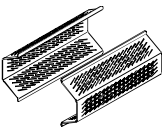
6-3 不調な時の原因と対策一覧 (2)



	警告	<p>点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。</p> <p>安全上支障をきたす場合があります。</p>
---	----	---

状 態	原 因	対 策
石が取れない	機械が水平になっていない	水平になるように調節してください
	石抜機への米の供給量が多すぎる	張込シャッターを調節してください
	石抜金網の目が塞がっている	取扱説明書に従って掃除を行ってください
石抜機の下に米がこぼれる	揚上スクリュウ装置のベルトが緩んでいる	ベルトを適正に張ってください
	揚上スクリュウシュートに糠が付着して流れが悪くなっている	取扱説明書に従って掃除を行ってください
	精米タンクがオーバーフローしているのに米を張り込み続けている	張込シャッターを閉めてください オーバーフロー口から米がでなくなるまで米は張り込まないでください
	石抜機への米の供給量が多すぎる	張込シャッターを調節してください
機械が振動する	機械の設置方法が間違っている	取扱説明書通りに設置してください
	機械を設置している地面に「ガタ」がある	水平になるように調節してください 「ガタ」のない場所に設置してください
「ヌラツキ」になる	主抵抗支柱・主抵抗板・万石の米輩出口等などに糠が付着している	取扱説明書に従って各部の掃除を行ってください
その他の異常がありましたら、当社または購入店にご相談ください		

7. 消耗部品

- 表中の数値を目安に、部品の交換をお願い致します。
- 交換部品は、お買い上げの販売店へお問合せください。
- 交換作業は、お買い上げ販売店へお問合せください。

部品名	研米ロール		円筒	除糠網
部品番号	167-150-12	167-155-11	167-103-17	167-225-16
イメージ	 (NXP-33EF)	 (NXP-55EF)		
交換の目安 (玄米)	180,000kg (約3,000俵)	180,000kg (約3,000俵)	180,000kg (約3,000俵)	60,000kg (約1,000俵)

部品名	糠吸引ホース	サイクロンホース	籾殻吸引ホース	糠袋
部品番号	167-422-13	526-430-14	528-471-11	526-445-11
イメージ	 (Φ63×310)	 (Φ63×580)	 (Φ38×690)	

※ 1俵=60kg (30kg×2袋) です。交換目安換算の際にお役立てください。

アフターサービスセンター

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず、販売店印およびお買い上げ日を確認のうえ、お買い上げの販売店から本書を受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年

3. 修理をお申しつけされるときには

《保証期間中》

お問合せの際、販売店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づき修理させていただきます。

《保証期間を経過している時》

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

4. 補修用部品の供給年限について《製造打ち切り後10年間》

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年と致します。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期限等について、ご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格について、ご相談させていただきます。

5. 点検・処置しても、なお不具合があるときは

下記の点を明確にしてお買い求め先までご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どれくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しく教えてください。

本書記載以外、お客様ご自身での修理、分解や改造は、絶対にしないでください。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書を持参、ご提出の上、お買い求め先へお申し出ください。無料修理させていただきます。

※型 式 名	NXP-33EF / NXP-55EF	修理メモ
※機 体 番 号		
保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1 年	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お 客 様	お名前	
	ご住所	
	お電話 ()	
※販売店名・住所	()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、下記の販売元へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
 - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障及び破損。
 - (ハ) お求め先以外での修理・純正部品以外の使用起因による故障、損傷の場合。
 - (ニ) 機能上影響のない音・振動・外観上の軽微な傷、経時変化による自然退色、発錆などの場合。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
 - (ヘ) 一般、厨房用以外（たとえば車輻、船舶へのとう載など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ト) 故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
 - (チ) 故障の発生後30日以内にお買い求め先へお申し出がなかった場合、取り外した不具合部品を紛失された場合。
 - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヌ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、下記の㈱細川製作所・お客様窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

マルマス機械株式会社

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉2番地
TEL. 076-472-2233 FAX. 076-473-9100